政策公約進捗状況基礎資料

令和３年５月

八戸市

目　次

１　対応事業別の実施状況の見方 1
２　４つの政策分野の実施状況 2
政策１）市民の安心向上. 2
重点施策 1. 2
重点施策 2. 3
重点施策 3. 5
重点施策 4. 6
重点施策 5. 7
重点施策 6. 13
重点施策 7. 14
重点施策 8. 16
政策２）まちの魅力創出. 17
重点施策 9. 17
重点施策 10. 18
重点施策 11. 21
重点施策 12. 30
重点施策 13. 32
重点施策 14. 36
重点施策 15. 37
重点施策 16. 44
政策３）地域の活力創造. 50
重点施策 17. 50
重点施策 18. 52
重点施策 19. 56
重点施策 20. 57
重点施策 21. 60
重点施策 22. 64
重点施策 23. 68
重点施策 24. 77
政策４）市民参画と広域連携. 78
4 78
重点施策 26. 83
重点施策 27. 92
重点施策 28. 93
重点施策 29. 94
重点施策 30. 96

1　対応事業別の実施状況の見方

1．対応事業は、原則として、令和３年３月末日を基準日として記載しています。
2．対応事業の記載内容は、以下のとおりです。

事業 00：　≪事業名称を記載しています≫

事業内容	≪事業内容を簡潔に記載しています≫			
実施区分	≪下記３を参照≫	担当課	≪担当課を記載しています≫	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	≪年度ごとの取組状況を簡潔に記載しています≫ ●…既に実施した内容、もしくは現在実施している内容 ○…今後実施する予定の内容 ▽…新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を中止している内容			
事業費（千円）	≪年度ごとに決算額／予算額を記載しています≫			

各年度事業の詳細・実績	H30	
	R１	
	R２	
	R３以降	

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

3．対応事業の実施区分の考え方は、以下のとおりです。
①実　施　済：令和３年３月末日現在、すでに完了している事業
②実　施　中：令和３年３月末日現在、進行中の事業
③検　討　中：令和３年３月末日現在、検討段階で実施時期が未定の事業
④一部実施：令和３年３月末日現在、事業内容に掲げた内容のうち一部を実施している事業
⑤未　実　施：令和３年３月末日現在、事業内容に掲げた内容を、実現していない事業

２　４つの政策分野の実施状況

政策１　市民の安心向上

重点施策１	東日本大震災からの創造的復興の総仕上げとして、八戸市復興計画に掲げた各種事業を推進します。

事業１：　復興計画推進事業

事業内容	八戸市復興計画に掲げた各種事業を推進するため、市民で構成する八戸市復興計画推進市民委員会を開催し、適切な進行管理を実施する。			
実施区分	実施済	担当課	政策推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●八戸市復興計画推進市民委員会の開催 ●八戸市復興計画の適切な進行管理	●八戸市復興計画推進市民委員会の開催 ●八戸市復興計画の適切な進行管理	●八戸市復興計画推進市民委員会の開催 ●八戸市復興計画の適切な進行管理	－
事業費(千円)	決算額　267	決算額　329	決算見込額　379	予算額　－

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・八戸市復興計画推進市民委員会の開催　４回 ・平成 30 年度復興計画推進市民委員会意見書の提出 【主な復興事業】 平成 30 年７月　「蕪島プロムナード公園」供用開始
	R１	・八戸市復興計画推進市民委員会の開催　５回 ・令和元年度復興計画推進市民委員会意見書の提出 【主な復興事業】 令和元年７月　「みなと体験学習館」供用開始 令和元年９月　「長根屋内スケート場」供用開始
	R２	・八戸市復興計画推進市民委員会の開催　５回 ・令和２年度復興計画推進市民委員会意見書の提出 【主な復興事業】 令和２年５月　「蕪島物産販売施設（かぶーにゃ）」供用開始
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策２	大規模自然災害に対する平時からのリスクマネジメントとして、「国土強靭化地域計画」を策定するとともに、防災・減災対策として、災害時の情報伝達体制を強化するため、ホームページやほっとスルメールの充実を図ります。

事業１：　国土強靭化地域計画策定事業

事業内容	大規模自然災害に対する平時からのリスクマネジメントとして強靭な地域づくりを推進するため、事前防災や減災の指針となる国土強靭化地域計画を策定する。			
実施区分	実施済	担当課	防災危機管理課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●庁内における策定作業・検討 ●連携中枢都市圏８市町村による協議・検討 ●有識者からの意見聴取 ●計画策定	－	－	－
事業費(千円)	決算額　7,338	決算額　－	決算見込額　－	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	・庁内策定会議　４回 ・市町村担当課長会議　４回 ・有識者による検討会議　４回 ・パブリックコメントの実施 ・平成 31 年３月　八戸圏域８市町村国土強靭化地域計画策定
	R１	－
	R２	－
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　安全・安心情報発信事業

事業内容	災害時の情報伝達手段である「ほっとスルメール」の機能を強化するため、配信速度の向上に関するシステム改修等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	防災危機管理課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●安全情報の手動配信業務（危険動物等） ●加入促進活動 ●総合防災訓練にて、ほっとスルメール・緊急速報メール連動一斉配信訓練の実施 ●システム改修	●安全情報の手動配信業務（危険動物等） ●加入促進活動 ●総合防災訓練にて、ほっとスルメール・緊急速報メール連動一斉配信訓練の実施 ●システム改修	●安全情報の手動配信業務（危険動物等） ●加入促進活動 ▽総合防災訓練にて、ほっとスルメール・緊急速報メール連動一斉配信訓練の実施 ●システム改修	○安全情報の手動配信業務（危険動物等） ○加入促進活動 ○総合防災訓練にて、ほっとスルメール・緊急速報メール連動一斉配信訓練の実施 ○システム改修
事業費(千円)	決算額　4,601	決算額　3,568	決算見込額　6,272	予算額　19,316

各年度事業の詳細・実績	H30	・ほっとスルメールシステムによる各種安全情報の配信　1,046 件 ・市民及び民間企業へのチラシの配布　18,732 枚 ・ほっとスルメールと緊急速報メール連動一斉配信訓練を実施 ・消防団向けの機能として、火災発生場所マップの追加等
	R１	・ほっとスルメールシステムによる各種安全情報の配信　1,118 件 ・市民及び民間企業へのチラシの配布　13,588 枚 ・ほっとスルメールと緊急速報メール連動一斉配信訓練を実施 ・スマートフォン向けアプリにおいて、防災関連情報 HP のリンク先一覧に、市ホームページ及び市公開地理情報システムへのリンク先を追加等
	R２	・ほっとスルメールシステムによる各種安全情報の配信　1,121 件 ・市民及び民間企業へのチラシの配布　5,536 枚 ・火災鎮火報及び誤報の自動配信化 【ほっとスルメール八戸圏域８市町村登録者数】 49,959 人（H31.3.31 現在）→ 56,784 人（R3.3.31 現在）
	R３以降	・ほっとスルメールシステムによる各種安全情報の配信 ・市民及び民間企業へのチラシの配布 ・ほっとスルメールと緊急速報メール連動一斉配信訓練の実施 ・緊急速報メールの連携業者の追加（楽天モバイル）

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、総合防災訓練が中止となったため、令和２年度に実施予定であったほっとスルメールと緊急速報メールの連動一斉配信訓練は未実施となった。

重点施策３	「八戸版ネウボラ」として、妊娠・出産から子育てまで切れ目のないケア・サポートを行う子育て世代包括支援センターを開設します。

事業１：　子育て世代包括支援センター事業

事業内容	「子育て世代包括支援センター」を設置し、「八戸版ネウボラ」として、妊娠・出産から子育てまで切れ目のないケア・サポートを実施する。			
実施区分	実施中	担当課	健康づくり推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●子育て世代包括支援センター開設・運営	●子育て世代包括支援センターの運営	●子育て世代包括支援センターを総合保健センターに移転・運営	○子育て世代包括支援センターの運営 ○八戸版ネウボラの実施
	●産前・産後サポート事業及び産後ケア事業の実施 ●産婦健康診査の実施等に向けた検討	●産前・産後サポート事業及び産後ケア事業の実施 ●産婦健康診査の実施等に向けた検討	●産前・産後サポート事業及び産後ケア事業の実施 ●産婦健康診査の実施	○産前・産後サポート事業及び産後ケア事業の実施 ○産婦健康診査の実施
事業費(千円)	決算額　9,373	決算額　9,882	決算見込額　11,660	予算額　12,338

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・平成 30 年 10 月、市庁舎内に「子育て世代包括支援センター」を開設 ・子育て世代包括支援センター事業　支援プラン策定数　2,389 件 母子健康相談　236 件 ・産前産後サポート事業　妊婦への電話支援　1,195 件 ・産後ケア事業　利用者　1 件
	R１	・子育て世代包括支援センター事業　支援プラン策定数　5,532 件 母子健康相談　468 件 ・産前産後サポート事業　妊婦への電話支援　1,195 件 妊産婦交流会　34 組 70 人 ・産後ケア事業　利用者　1 件
	R２	・子育て世代包括支援センター事業　支援プラン策定数　5,977 件 母子健康相談　715 件 ・産前産後サポート事業　妊婦への電話支援　1,077 件 妊産婦交流会　76 組 151 人 ・産後ケア事業　利用者６人　延べ 10 件 ・令和２年８月　総合保健センター内に「子育て世代包括支援センター」を移転 ・「八戸版ネウボラ」として、保健（子育て世代包括支援センター）、福祉（こども家庭相談室）、教育（こども支援センター）の３部署の専門員の連携による支援体制を構築 ・令和２年 10 月　産婦健康診査事業を開始
	R３以降	・八戸版ネウボラの相談体制による支援を継続実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策４	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、小学生及び中学生の医療費助成制度について通院費までの拡充を行います。

事業１：　子ども医療費助成事業

事業内容	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、０歳～中学生までの子どもの通院・入院医療費及び高校生等の入院医療費を助成する。			
実施区分	実施中	担当課	子育て支援課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●０歳～就学前の乳幼児等の入院・通院費用を助成 ●小・中学生、高校生等の入院費用を助成 ●小・中学生の通院費用を助成対象に追加	●０歳～就学前の乳幼児等の入院・通院費用を助成 ●小・中学生の入院・通院費用を助成 ●高校生等の入院費用を助成	●０歳～就学前の乳幼児等の入院・通院費用を助成 ●小・中学生の入院・通院費用を助成 ●高校生等の入院費用を助成	○０歳～中学生の入院・通院費用を助成 （令和４年１月から未就学児世帯の所得制限を緩和し、対象拡大予定） ○高校生等の入院費用を助成
事業費（千円）	決算額　269,334	決算額　398,178	決算見込額　329,344	予算額　413,825

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・０歳～就学前の乳幼児等の入院・通院費用を助成　205,592,159 円 ・小・中学生、高校生等の入院費用を助成　7,237,362 円 ・小・中学生の通院費用を助成対象に追加　12,283,599 円
	R１	・０歳～就学前の乳幼児等の入院・通院費用を助成　199,663,848 円 ・小・中学生の入院・通院費用を助成　163,253,286 円 ・高校生等の入院費用を助成　2,695,139 円
	R２	・０歳～就学前の乳幼児等の入院・通院費用を助成　151,563,107 円 ・小・中学生の入院・通院費用を助成　145,074,646 円 ・高校生等の入院費用を助成　1,540,556 円
	R３以降	・０歳～中学生の入院・通院費用を助成 ・高校生等の入院費用を助成 ・令和４年１月から未就学児世帯の所得制限を緩和し対象拡大予定 助成対象が、11,823 人から 15,323 人に増加する見込み。

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策５	**総合的な健康対策の拠点として、介護・認知症予防センターとこども支援センターを併設した総合保健センターの建設を推進するとともに、市民病院において、緩和ケア病棟の建設をはじめ、総合的ながん対策の充実に取り組みます。**

事業１：　介護・認知症予防センター事業

事業内容	介護予防や認知症対策を実施する介護・認知症予防センターを設置する。			
実施区分	実施中	担当課	高齢福祉課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●センターでの事業内容等の検討、最終調整 ●先進地視察の実施	●キャラバンメイト育成、認知症サポーター養成講座、地域回想法等、センターでの事業運営に向けた準備 ●専門職による各種介護予防事業の調査、検討 ●センターの周知	●総合保健センター内に「介護予防センター」を開設 ●認知症を含む介護予防に関する支援のための体制づくり ●関係機関との連携 ▽開業記念講演会、認知症カフェ、認知症フォーラム	○介護予防に関する支援体制の充実 ○認知症カフェの開催等認知症支援事業の充実 ○関係機関との連携
事業費(千円)	決算額　160	決算額　5,363	決算見込額　20,034	予算額　20,916

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・先進地視察（東京都北区介護予防拠点施設「ぷらっとほーむ桐ケ丘」他２件）
	R１	・名称を「介護予防センター」に決定 ・専門職を配置し、新規事業の計画立案及び周知用リーフレット作成など開設に向けて準備開始
	R２	・令和２年４月　市庁舎内に「介護予防センター」を開設 ・令和２年８月　総合保健センター内に「介護予防センター」を移転 ・介護予防普及啓発のための冊子を作成し市内全戸配布　96,000 部 【新規事業の実績】 介護予防相談 246 人、各種講座 延べ 328 人、 体操会及び集いの場　参加延べ 1,980 人、見学者 644 人
	R３以降	・開業１周年記念講演会、認知症カフェ、認知症フォーラムの開催 ・介護予防普及啓発事業の拡充（脳いきいき教室、体いきいき教室、集いの場等）と認知症カフェの開催等認知症支援事業の充実 ・関係課、関係団体への周知及び認知症診断医療機関等との連携の強化

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により令和２年度実施予定だった開業記念講演会、認知症カフェ、認知症フォーラムの開催を中止した。

事業２：　こども支援センター運営事業

事業内容	発達障害等の早期発見･早期支援を目的としたこども支援センターを運営する。			
実施区分	実施中	担当課	こども支援センター	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●他機関、他課と連携した業務の充実 ●困難なケースへの対応の仕方についての研修等実施 ●充実した相談体制整備に向けての検討	●本格運用を見据えた事業や体制の検討 ●他機関、他課と連携した業務の充実	●総合保健センター内にこども支援センターを移設 ●他機関、他課と連携した業務の充実	○他機関、他課と連携した業務の充実 ○小学校就学に向けた、切れ目のない相談体制の整備
事業費(千円)	決算額 20,166	決算額 34,425	決算見込額 42,037	予算額 46,852

各年度事業の詳細・実績	H30	・専門指導員による小学校、中学校、園への巡回相談の実施 延べ566件
	R１	・専門指導員による小学校、中学校、園への巡回相談の実施 延べ609件 ・未就学児ことばの教室相談員６名がこども支援センターに移管
	R２	・専門指導員・幼児相談員による小学校、中学校、園への巡回相談の実施 延べ508件 ・令和２年４月　幼児相談部を設立 ※未就学児こどばの教室相談員を幼児相談員に職名変更 ・令和２年６月　幼児相談員２名がこども支援センターにて常駐勤務 ※４名は継続してことばの教室で勤務 ・子ども家庭支援関係者会議の実施（８月より月１回開催）
	R３以降	・専門指導員・幼児相談員による小学校、中学校、園への巡回相談の実施 ・幼児相談アドバイザーを配置し、幼児相談員に同行して園への巡回相談を実施 ・子ども家庭支援関係者会議の実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウィルス感染症の影響により、４～５月の巡回相談は中止、６月以降巡回相談を再開した。

事業３：　(仮称)総合保健センター整備事業

事業内容	総合的な健康対策の拠点として、介護・認知症予防センターとこども支援センターを併設した総合保健センターを田向地区に整備する。			
実施区分	実施中	担当課	保健総務課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●建設工事	●建設工事 ●外構工事	●建設工事 ●外構工事 ●供用開始 ●第二期工事（キャノピー・外構）	○第二期工事（キャノピー・外構）
事業費(千円)	決算額　983,840	決算額　2,488,640	決算見込額　2,220,322	予算額　318,041

各年度事業の詳細・実績	H30	・建設工事
	R１	・建設工事、外構工事 ・事務什器、医療機器を取得 ・関係条例を制定
	R２	・令和２年４月　建設工事完了 ・令和２年６月　外構工事完了 ・施設で使用する事務什器、医療機器を取得 ・令和２年６月１日　「八戸市総合保健センター」供用開始 →「八戸市休日夜間急病診療所」「八戸市休日歯科診療所」「こども支援センター」が業務を開始 →「保健所」「こども家庭相談室」「介護予防センター」は、８月 11 日から業務を開始） ・令和３年３月　第二期工事発注
	R３以降	・令和４年１月　「臨床検査センター」「八戸市総合健診センター」が、業務開始予定 ・令和４年３月 第二期工事完了予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
・「八戸市総合保健センター」の供用開始は、令和２年４月１日を予定していたが、建築資材の不足等により令和２年６月１日に延期となった。 ・令和２年６月１日に予定していた「保健所」「こども家庭相談室」「介護予防センター」の移転は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止への対応のため、同年８月 11 日に延期した。

事業４：　緩和ケア病棟整備事業

事業内容	総合的ながん対策の充実を図るため、八戸市立市民病院に緩和ケア病棟を整備する。			
実施区分	実施済	担当課	市民病院	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●実施設計 ●建設工事	●建設工事	●竣工 ●医療機器等購入及び搬入 ●内覧会の開催 ●供用開始	－
事業費(千円)	決算額　59,400	決算額　1,325,925	決算見込額　1,983,948	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	・実施設計、建設工事（令和２年２月竣工予定） ・緩和ケア病棟運営検討委員会を設置
	R１	・台風等の影響によって工期延長（令和２年４月竣工予定）
	R２	・令和２年４月　竣工 ・令和２年９月　供用開始 　新型コロナウイルス感染症による影響により最大５床程度で供用開始 　　延べ入院患者数　919 人（R3.3.31 現在）
	R３以降	・新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、段階的に稼働病床数を拡大させる予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業５：　総合的ながん対策事業

事業内容	総合的ながん対策の充実を図るため、八戸市立市民病院において、専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援及び情報提供を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	市民病院	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●集学的治療の提供体制及び標準的治療等の提供 ●研修の実施 ●情報提供の実施	●集学的治療の提供体制及び標準的治療等の提供 ●研修の実施 ●情報提供の実施	●集学的治療の提供体制及び標準的治療等の提供 ●研修の実施 ●情報提供の実施	○集学的治療の提供体制及び標準的治療等の提供 ○研修の実施 ○情報提供の実施
事業費(千円)	決算額　0	決算額　0	決算見込額　0	予算額　0

各年度事業の詳細・実績	H30	・専門的な知識及び技能を有する医師及びメディカルスタッフの配置 ・地域医療者とのキャンサーボードの実施　2 回 ・地域医療従事者対象のがんに関する講演会　2 回 ・がん相談支援センターにおけるがん相談　973 件、就労支援 11 件
	R１	・専門的な知識及び技能を有する医師及びメディカルスタッフの配置 ・多職種キャンサーボードを毎月実施 ・地域医療従事者対象のがんに関する講演会　3 回 ・がん相談支援センターにおけるがん相談　597 件、就労支援 9 件
	R２	・専門的な知識及び技能を有する医師及びメディカルスタッフの配置 ・多職種キャンサーボードを毎月実施 ・がんに関する講演会　1 回 ・がん相談支援センターにおけるがん相談　520 件、就労支援 6 件
	R３以降	・専門的な知識及び技能を有する医師及びメディカルスタッフの配置 ・多職種キャンサーボードを毎月実施予定 ・地域医療従事者対象のがんに関する講演会実施予定 ・がん相談支援センターにおけるがん相談、就労支援の継続

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業６：　がん検診事業

事業内容	総合的ながん対策の充実を図るため、がん検診の受診勧奨や女性特有のがんの検診無料クーポン券の配付を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	健康づくり推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●各種がん検診の実施 ●女性特有のがん（乳がん・子宮頸がん）の検診無料クーポン券の配布	●各種がん検診の実施 ●女性特有のがん（乳がん・子宮頸がん）の検診無料クーポン券の配布	●各種がん検診の実施 ●女性特有のがん（乳がん・子宮頸がん）の検診無料クーポン券の配布	○各種がん検診の実施 ○女性特有のがん（乳がん・子宮頸がん）の検診無料クーポン券の配布
事業費(千円)	決算額　311,764	決算額　300,668	決算見込額　274,870	予算額　310,743

各年度事業の詳細・実績	H30	・各種がん検診の実施 【受診者数】 胃 15,043 人、肺 17,973 人、大腸 18,291 人、前立腺 6,509 人、 乳 5,590 人、子宮頸 9,875 人 ・がん検診無料クーポン券の配布 【補助人数/対象者数】 乳 489 人/ 1,478 人、子宮頸 96 人/ 916 人
	R１	・各種がん検診の実施 【受診者数】 胃 14,291 人、肺 17,054 人、大腸 17,571 人、前立腺 6,283 人、 乳 5,076 人、子宮頸 8,998 人 ・がん検診無料クーポン券の配布 【補助人数/対象者数】 乳 365 人/ 1,387 人、子宮頸 94 人/ 932 人
	R２	・各種がん検診の実施 【受診者数】 胃 12,375 人、肺 14,750 人、大腸 15,435 人、前立腺 5,725 人、 乳 5,466 人、子宮頸 8,895 人 ・がん検診無料クーポン券の配布 【補助人数/対象者数】 乳 336 人/ 1,351 人、子宮頸 99 人/ 904 人
	R３以降	・令和３年度以降も継続して事業を実施予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策６	高齢者の自立生活を支援するため、社会福祉法人等と連携しながら地域包括支援センターの機能強化を図ります。

事業１：　地域包括支援センター運営事業

事業内容	地域包括支援センターの機能強化を図るため、市内 12 圏域に委託型地域包括支援センターを設置し、より地域に密着した活動やきめ細かな支援等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	高齢福祉課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●地域包括支援センターの運営 ●包括的支援業務（総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援）及び介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）の実施	●地域包括支援センターの運営 ●包括的支援業務（総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援）及び介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）の実施	●地域包括支援センターの運営 ●包括的支援業務（総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援）及び介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）の実施	○地域包括支援センターの運営 ○包括的支援業務（総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援）及び介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）の実施
事業費(千円)	決算額　198,982	決算額　195,750	決算見込額　210,074	予算額　210,374

各年度事業の詳細・実績			
	H30	・総合相談支援（一般・困難・虐待）	7,483 件
		・地域ケア個別会議　52 回、圏域ケア個別会議	13 回
		・介護予防ケアマネジメント事例学習会	24 回
		・介護予防把握事業（実態把握）	3,109 件
		・介護予防普及啓発事業（介護予防事業）	363 回
		・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用）	250 回
	R１	・総合相談支援（一般・困難・虐待）	8,538 件
		・地域ケア個別会議　67 回、圏域ケア個別会議	21 回
		・介護予防ケアマネジメント事例学習会	26 回
		・介護予防把握事業（実態把握）	3,598 件
		・介護予防普及啓発事業（介護予防事業）	351 回
	R２	・総合相談支援（一般・困難・虐待）	9,020 件
		・地域ケア個別会議　47 回、圏域ケア個別会議	17 回
		・介護予防ケアマネジメント事例学習会	8 回
		・介護予防把握事業（実態把握）	3,741 件
		・介護予防普及啓発事業（介護予防事業）	165 回
	R３以降	・令和３年度以降も事業を継続して実施予定	

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策７	予約システムの導入やユニバーサルデザイン化等により、斎場のリニューアルを図るとともに、市営霊園において、生前予約の導入や市民ニーズに対応した新しい形の墓地の整備を進めます。

事業１：　斎場火葬炉等整備改修事業

事業内容	今後更に増加が見込まれる火葬件数への対応及び誰でも利用しやすい（ユニバーサルデザイン）施設・設備とするため、斎場をリニューアルする。			
実施区分	実施済	担当課	市民課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●整備内容を検討 ●斎場整備工事実施設計 ●先進地視察の実施	●斎場整備・改修工事実施	●供用開始	－
事業費(千円)	決算額　13,549	決算額　606,693	決算見込額　－	予算額　－

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・斎場実施設計、整備工事
	R１	・斎場整備、改修工事
	R２	・令和２年４月　供用開始
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　（仮称）新しい形の墓地整備事業

事業内容	市営霊園において、多様化する市民ニーズに対応するため、「新しい形の墓地」を整備し、さらに「生前予約」制度を導入する。			
実施区分	実施中	担当課	市民課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●「新しい形の墓地」整備内容の検討 ●先進地視察の実施	●使用者の募集及び選定方法の検討 ●生前予約制度導入に向けた申し込み資格等の検討 ●「新しい形の墓地」基本計画の策定 ●候補地の測量実施	●実施設計・地質調査実施 ●管理運営及び募集方法等の検討	○整備工事 ○管理運営及び募集方法等の検討
事業費(千円)	決算額　111	決算額　3,960	決算見込額　10,395	予算額　39,600

各年度事業の詳細・実績	H30	・先進地視察（宇都宮市など） ・庁内検討委員会　1回 ・関係機関団体との協議　3回
	R１	・「新しい形の墓地」基本計画策定、候補地の測量実施 ・関係機関団体との協議　5回 ・生前予約制度導入に向けた申し込み資格等の検討
	R２	・実施設計、地質調査実施 ・庁内検討委員会 1回 ・関係機関団体との協議　2回
	R３以降	・令和３年12月　整備工事完工予定 ・庁内検討委員会、関係機関団体との協議 ・令和４年　新しい形の墓地供用開始及び募集開始、生前予約制度導入予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策８	民間の資金やノウハウを活用し、市内のすべての防犯灯のＬＥＤ化を推進します。

事業１：　八戸市防犯灯ＬＥＤ化エスコ事業

事業内容	市内のすべての防犯灯のＬＥＤ化を推進するため、民間事業者による包括的な維持管理や計画的な設置・更新を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	道路維持課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●事業者の選定、契約、交換工事の実施 ●事業者による包括的な維持管理開始	●事業者による包括的な維持管理	●事業者による包括的な維持管理	○事業者による包括的な維持管理
事業費(千円)	決算額 737	決算額 43,000	決算見込額 43,000	予算額 43,000

各年度事業の詳細・実績	H30	・公募型プロポーザル方式による受託事業者の選定及び契約締結 ・受託事業者による市内全域の防犯灯についてＬＥＤ灯への交換工事を実施
	Ｒ１	・受託事業者による包括的な維持管理を実施
	Ｒ２	・受託事業者による包括的な維持管理を実施
	Ｒ３以降	・受託事業者による包括的な維持管理を継続実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

政策２　まちの魅力創出

重点施策９	「アート･エデュケーション･ファーム」を理念に、新美術館の建設を推進します。

事業１：　八戸市美術館整備事業

事業内容	「アート・エデュケーション・ファーム」という理念の下、従来の美術館機能とアートセンター、エデュケーションセンターの３つの軸を併せ持つ、新しい美術館を中心市街地に整備する。			
実施区分	実施中	担当課	美術館	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●実施設計 ●管理運営基本計画策定	●建設工事 ●運営ディレクション業務等、開館プレ事業の実施	●建設工事 ●運営ディレクション業務等、開館プレ事業の実施 ●広場整備工事	○供用開始 ○開館プレ事業、オープニングセレモニー等の実施 ○広場整備工事
事業費(千円)	決算額　202,892	決算額　959,475	決算見込額　2,555,722	予算額　154,397

各年度事業の詳細・実績	H30	・実施設計完了 ・旧消防庁舎・安協建物解体工事、粗造成工事 ・八戸市新美術館管理運営基本計画策定
	R１	・建物建築工事着手 ・八戸市新美術館中期運営計画策定 ・アートビジネスシンポジウム、「出張アートイズ（幼児向け造形教室）」等開催
	R２	・令和２年 12 月末　建物竣工 ・令和３年３月　広場整備着手 ・建築ツアー実施、はちのへホコテンでの出展
	R３以降	・館内備品・什器の購入・設置 ・広場整備工事 ・令和３年８～９月　開館プレ事業実施 ・令和３年 11 月　開館予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策 10	南郷地域や中心市街地、臨海部工場群等において、市民参加型アートプロジェクトを推進します。

事業１： 南郷アート事業

事業内容	南郷地域において市民参加型アートプロジェクトを推進するため、文化芸術が持つ創造的なアプローチを用い、南郷地域の地域資源を再発見し、また、市民の地域に対する誇りを掘り起こすことにつながるアートプログラム等を実施する。			
実施区分	実施済	担当課	美術館	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●「なんごう小さな芸術祭」の実施 （地域の歴史や自然、人々の営みと言った「風土」に出会える演劇や舞踏などの公演と展示の実施）	●島守地域でのダンス映画製作プロジェクトの実施 ●WEB アーカイブの作成	●南郷ジャズフェスティバルをテーマとしたダンスの公演の実施 ●WEB アーカイブの作成 ●R1 年度作成の「しまもりさいじき」の再上映（ロビー上映）	－
事業費(千円)	決算額 34,204	決算額 11,814	決算見込額 11,335	予算額 －

各年度事業の詳細・実績	H30	・「なんごう小さな芸術祭」として、地域資源を活かした演劇や舞踏などの公演、作品展示、バスツアー、ワークショップなどのプログラムを約３週間の期間で実施　　来場者数　9,608 人
	R１	・南郷島守地域の風景や生活文化、失われつつある風俗を題材とした住民参加によるダンス映画「しまもりさいじき」を制作、上映 　出演及び参加者　618 人（地域住民 204 人出演、上映会来場者 414 人） ・WEB アーカイブの作成
	R２	・南郷ジャズフェスティバルの関係者のインタビューを基に創作したダンス公演「ダンス公演「DANCE×JAZZ Episode.0－ジャズの里　南郷」を実施し、令和元年度作成の「しまもりさいじき」を公演にあわせてホールロビーにて再上映 　出演及び参加者　509 人（地域住民 40 人インタビュー出演、来場者 469 人） ・WEB アーカイブの作成、発信 ・令和２年度で事業を終了
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　工場アート事業

事業内容	臨海部において市民参加型アートプロジェクトを推進するため、工場に関連した講座等（講義）、工場見学（課外活動）、アートプロジェクトの実践（サークル活動）を行う「八戸工場大学」を実施する。			
実施区分	実施済	担当課	美術館	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●「八戸工場大学」の実施 （講義：３回実施、11/14、12/12、1/9） （課外活動：２回実施、10/14、11/3） （サークル活動：8/17、8/18 実施）	●「八戸工場大学」の実施 （講義：５回実施、9/4、9/18、10/23、11/6、12/4） （課外活動：２回実施、10/6、11/9）	●「八戸工場大学」の実施 （講義：６回実施、11/11、11/25、12/2、12/16、1/20、2/3）	－
事業費(千円)	決算額　4,900	決算額　1,439	決算見込額　1,436	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	・地元の工場などの講義を実施　３回　参加者 延べ 125 人 ・課外活動として太平洋金属、船からの工場風景鑑賞など実施 ・東北電力八戸火力発電所と連携し、解体前の煙突をライトアップするアートプロジェクトを市民とともに実施　　来場者 300 人
	Ｒ１	・地元の工場、印刷技術を生かした美術館、飼料・畜産に関わる工場などを紹介する内容の講義を実施　５回　参加者 延べ 190 人 ・課外活動として、帆風美術館、エプソンアトミックスの工場見学を実施
	Ｒ２	・オンラインを中心とした方法で、地元の工場や、美術館の工事現場、遺構を残すアートなどの内容の講義を実施　６回　参加者 延べ 314 人 ・はちとま連携（苫小牧市）、全国工場夜景協議会とも連携 ・令和２年度で事業を終了
	Ｒ３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
・Ｒ２年度は、台風の影響で講義（トークイベント）を１回中止したほか、新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していたワークショップを一部取りやめた。

事業３：　八戸ポータルミュージアム事業

事業内容	中心市街地において市民参加型アートプロジェクトを推進するため、八戸三社大祭の山車づくりの楽しさ等を体験できる市民プロジェクトや、「まちぐ（る）み」による伝統工芸品等を活用した市民プロジェクト等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	八戸ポータルミュージアム	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●DASHIJIN プロジェクトの実施 （八戸三社大祭の山車づくりの楽しさ等を体験できる取組） ●「まちぐ（る）み」事業の実施 （伝統工芸品等を活用した市民参加型の取組等） ●横丁活性化事業の実施 （八戸横丁月間～酔っ払いに愛を 2018）	●DASHIJIN プロジェクトの実施 （八戸三社大祭の山車づくりの楽しさ等を体験できる取組） ●「まちぐ（る）み」事業の実施 （伝統工芸品等を活用した市民参加型の取組等） ●横丁活性化事業の実施 （八戸横丁月間～酔っ払いに愛を 2019）	●DASHIJIN プロジェクトの実施 （八戸三社大祭の山車づくりの楽しさ等を体験できる取組） ●「まちぐ（る）み」事業の実施 （伝統工芸品等を活用した市民参加型の取組等） ●横丁活性化事業の実施 （八戸横丁月間～酔っ払いに愛を 2020）	○アーティストインレジデンス事業の実施 （レジデンスを活用したアートプログラム） ○「まちぐ（る）み」事業の実施 （伝統工芸等を活用した市民参加型の取組等） ○横丁活性化事業の実施（横丁オンリーユーシアター）
事業費(千円)	決算額 51,264	決算額 30,645	決算見込額 23,001	予算額 31,000

各年度事業の詳細・実績	H30	・山車の造形力を活かして装飾した人力のメリーゴーラウンドによる「DASHIJIN LAND」等を実施 ・「はっちのイスに南部ひしざし」等を実施 ・「横丁オンリーユーシアター」を実施
	R１	・山車小屋を訪問して実際の山車作りを体験する「DASHIJIN なりきりツアー」等を実施 ・「はっちのイスに南部ひしざし」等を実施 ・「横丁オンリーユーシアター」を実施
	R２	・市内の小学校が八戸三社大祭に関する授業を行う際に活用できる教材を制作、展示説明会を実施 ・「はっちのイスに南部ひしざし」等を実施 ・「横丁オンリーユーシアター」を実施
	R３以降	・はっちのレジデンスに滞在するアーティストによる市民参加型のアートプログラムの実施 ・市民が気軽に伝統工芸である南部菱刺しを体験できるプログラムを中心街で実施 ・「横丁オンリーユーシアター」を実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント内容の変更や一部縮小など

重点施策 11	ユネスコ無形文化遺産登録「八戸三社大祭」と国指定重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」を保存・伝承するため、山車製作等の体制強化、文化・技術の継承、後継者対策の充実を図ります。

事業１： 旧柏崎小学校跡地広場整備事業

事業内容	山車製作等の体制強化を図るため、中心街に近い旧柏崎小学校跡地に山車製作場所を整備する。			
実施区分	実施中	担当課	観光課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●基本設計	●基本設計	●地域及び関係団体との協議	○用途地域変更の手続き
事業費(千円)	決算額 5,444	決算額 12,701	決算見込額 0	予算額 0

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・基本設計 ・柏崎地区地域づくり意見交換会にて地域代表者へ説明　２回 ・柏崎地区連合町内会との協議
	R１	・基本設計（H30 から繰越） ・関係課連絡会議の開催及び関係部署との調整 ・柏崎地区地域づくり意見交換会にて地域代表者へ説明　２回 ・柏崎地区連合町内会との協議 ・はちのへ山車振興会との協議
	R２	・関係課連絡会議の開催及び関係部署との調整 ・柏崎地区連合町内会とはちのへ山車振興会との協議 ・柏崎地区地域づくり意見交換会にて地域代表者へ説明　１回 ・柏崎地区住民との情報共有会の開催　２回
	R３以降	・用途地域変更手続 ・山車小屋実施設計、整備 ・広場実施設計、整備

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　八戸三社大祭ＰＲ事業

事業内容	平成 28 年秋のユネスコ無形文化遺産登録を契機とし、八戸三社大祭の文化・技術の継承を図るため、イベント等への山車展示や雑誌への掲載等により国内外へのＰＲを実施する。			
実施区分	実施中	担当課	観光課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	（観光課） ●イベント等での山車出張展示・運行、ミニ山車の展示 ●首都圏での雑誌やデジタルサイネージを活用したＰＲ ●ユートリー「八戸三社大祭魅力発信コーナー」の開設 ●ポスターやオリジナルうちわの作成 ●八戸三社大祭ＧＰＳ多言語ガイドサービスの導入 ●山・鉾・屋台行事観光推進ネットワークへの参画	（観光課） ●イベント等での山車出張展示・運行 ●ユートリー「八戸三社大祭魅力発信コーナー」の維持管理 ●山・鉾・屋台行事観光推進ネットワークへの参画 ●八戸三社大祭及び関連行事の開催に対する補助 （VISIT はちのへ） ●八戸三社大祭ポスターの作成 ●八戸三社大祭ミニ山車の維持管理 ●デジタル広告によるＰＲ	（観光課） ▽イベント等での山車出張展示・運行（中止） ●ユートリー「八戸三社大祭魅力発信コーナー」の維持管理 ●八戸三社大祭ミニ山車の維持管理 ▽山・鉾・屋台行事観光推進ネットワークへの参画（中止） ▽八戸三社大祭及び関連行事の開催に対する補助（中止） （VISIT はちのへ） ▽八戸三社大祭ポスターの作成（中止） ▽デジタル広告によるＰＲ	（観光課） ○イベント等での山車出張展示・運行 ○ユートリー「八戸三社大祭魅力発信コーナー」の維持管理 ○八戸三社大祭ミニ山車の維持管理 ○山・鉾・屋台行事観光推進ネットワークへの参画 ○八戸三社大祭及び関連行事の開催に対する補助 （VISIT はちのへ） ○デジタル広告によるＰＲ
事業費（千円）	決算額　36,889	決算額　928	決算見込額　647	予算額　1,142

各年度事業の詳細・実績	H30	（観光課） ・「あおもり 10 市大祭典 in AOMORI」（青森市）及び「ふるさと祭り東京」（東京都）において、山車の展示・運行を実施 ・JR 上野駅（東京都）及びはこだてグルメサーカス（函館市）にミニ山車を展示 ・JR 東日本新幹線車内誌「トランヴェール」及び JR 東日本車内デジタルサイネージ「トレインチャンネル」に八戸三社大祭に関する広告を掲載 ・ユートリー１階の山車展示スペースを改装し、新たに「八戸三社大祭魅力発信コーナー」を開設 ・山・鉾・屋台行事観光推進ネットワーク H30 年度総会（山形県新庄市）へ出席
	Ｒ１	（観光課） ・「あおもり 10 市大祭典 in つがる」において、山車の展示・運行を実施 ・八戸三社大祭魅力発信コーナーの維持管理を実施 ・山・鉾・屋台行事観光推進ネットワーク令和元年度総会（千葉県香取市）へ出席 ・八戸三社大祭のほか、関連行事である「おまつり広場」の開催に対し補助金を交付 （VISIT はちのへ） ・首都圏在住者が Yahoo や Facebook 等を閲覧した際に三社大祭に関する広告が掲出されるデジタルマーケティング事業を実施
	Ｒ２	（観光課） ・八戸三社大祭魅力発信コーナー及びミニ山車の維持管理を実施
	Ｒ３以降	・これまでの取組を継続して実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により八戸三社大祭が規模を縮小しての開催となったことに伴い、各種事業の実施を取り止めた。

事業３：　八戸えんぶりＰＲ事業

事業内容	八戸えんぶりの文化・技術の継承を図るため、雑誌等への掲載や県外イベント出演等によるＰＲを実施する。			
実施区分	実施中	担当課	観光課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●雑誌等を活用したＰＲ ●県外イベント等出演 ●ポスター作成	（観光課） ●ポスター作成 （みちのく五大雪まつり推進協議会） ●えんぶり開催に対する補助 （VISIT はちのへ） ●デジタル広告 ●えんぶりポスターの増刷 ●八戸駅バナー掲出	（観光課） ▽ポスター作成 （みちのく五大雪まつり推進協議会） ▽えんぶり開催に対する補助 ●代替イベントの開催 （VISIT はちのへ） ▽デジタル広告 ●えんぶりポスターの作成 ▽八戸駅バナー掲出	（観光課） ○ポスター作成 （みちのく五大雪まつり推進協議会） ○えんぶり開催に対する補助 （VISIT はちのへ） ○デジタル広告
事業費（千円）	決算額　1,896	決算額　600	決算見込額　600	予算額　600

各年度事業の詳細・実績	H30	（観光課） ・ポスターの作成　B1 版：1,600 枚　B2 版：1,200 枚　計 2,800 部 ・大人の休日倶楽部広告掲載 ・はこだてグルメサーカスでのえんぶり披露【函館市】 ・ポスターの作成（みちのく五大雪まつり推進協議会） B1 版：860 枚　B2 版：200 枚　計 1,060 枚 主な掲出先：JR 東日本管内主要駅、東北管内高速道路 SA、 北東北三県事務所（名古屋、大阪、福岡）
	R１	（観光課） ・ポスターの作成（みちのく五大雪まつり推進協議会） B1 版：860 枚　B2 版：200 枚　計 1,060 枚 主な掲出先：JR 東日本管内主要駅、東北管内高速道路 SA、 北東北三県事務所（名古屋、大阪、福岡） （VISIT はちのへ） ・八戸地方えんぶり保存振興会の事務局として、一連のえんぶり行事を企画・運営 ・えんぶりのバナーを八戸駅東西自由通路へ掲出し、八戸駅利用客に向けてＰＲを実施 ・えんぶりポスターを増刷　B1 版：400 枚　B2 版：400 枚　計　800 枚 主な掲出先：市内宿泊施設、市内主要観光施設、公共交通事業者等 ・首都圏在住者が Yahoo や Facebook 等を閲覧した際にえんぶりに関する広告が掲出されるデジタルマーケティング事業を実施
	R２	（観光課） ・みちのく五大雪まつり推進協議会ポスターの作成は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止 ・マチニワにおいて、えんぶり代替イベント「えんぶり特別企画～八戸にえんぶりが春を呼ぶ～」を開催 （VISIT はちのへ） ・ポスターの作成　B1 版：1,000 枚　B2 版：800 枚　計　1,800 枚 主な掲出先：市内宿泊施設、市内主要観光施設、公共交通事業者等
	R３以降	（観光課） ・ポスターの作成（みちのく五大雪まつり推進協議会） （VISIT はちのへ） ・八戸地方えんぶり保存振興会の事務局として、一連のえんぶり行事を企画・運営 ・首都圏在住者が Yahoo や Facebook 等を閲覧した際にえんぶりに関する広告が掲出されるデジタルマーケティング事業を実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりえんぶり全行事が中止となったことから、代替イベントの開催及びえんぶりの中止が決まるまでに完了していたポスターの作成のみの実施となった。

事業４：　八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録ＰＲ事業

事業内容	八戸三社大祭の文化・技術の継承を図るため、全国山・鉾・屋台保存連合会等の関係団体との連絡調整を行うとともに、小学生向け八戸三社大祭副読本の配付や講演・出前授業等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	社会教育課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●全国山・鉾・屋台保存連合会等関係団体との連絡調整 ●小学生向け八戸三社大祭副読本の増刷 ●講演・出前授業の実施 ●普及用リーフレット増刷 ●周知・ＰＲ	●全国山・鉾・屋台保存連合会総会八戸大会の開催 ●小学生向け八戸三社大祭副読本の配布 ●普及用リーフレット増刷 ●周知・ＰＲ	▽東北山・鉾・屋台協議会総会八戸大会の開催（中止） ●小学生向け八戸三社大祭副読本の配布 ●普及用リーフレット増刷 ●周知・ＰＲ	○全国山・鉾・屋台保存連合会当関係団体との連絡調整 ○東北山・鉾・屋台協議会総会八戸大会の開催 ○小学生向け八戸三社大祭副読本増刷・配布 ○普及用リーフレット増刷・配布 ○ユネスコ無形文化遺産登録５周年記念パネル展の開催
事業費(千円)	決算額　957	決算額　4,015	決算見込額　619	予算額　784

各年度事業の詳細・実績	H30	・「新・秋田の行事 in 仙北 2018」（秋田県仙北市）へ法霊神楽派遣 ・ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」ポスター展開催 ・「庶民の教養と技術の結晶!!風流山車」展開催 ・小学３年生対象八戸三社大祭副読本増刷、配布 ・「八戸三社大祭の山車行事」リーフレット増刷、配布
	Ｒ１	・全国山・鉾・屋台保存連合会総会八戸大会開催　参加者 430 名 ・ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」ポスター展開催 ・「広報はちのへ５月号」へ山車組参加促進特集ページの掲載 ・小学３年生対象八戸三社大祭副読本増刷、配布 ・「八戸三社大祭の山車行事」リーフレット増刷、配布 ・賣市山車組による出前講座実施時の資料作成支援
	Ｒ２	・小学３年生対象八戸三社大祭副読本増刷、配布 ・パネル展「世界遺産・無形文化遺産の世界」開催
	Ｒ３以降	・令和３年度以降も継続して事業を実施予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウィルス感染拡大の影響により、令和２年度実施予定であった「東北山・鉾・屋台協議会総会八戸大会」が中止となった。

事業５：　民俗芸能の夕べ開催事業

事業内容	八戸えんぶりの文化・技術の継承を図るため、杁（えんぶり）組をはじめとした民俗芸能団体が出演する「民俗芸能の夕べ」を開催する。			
実施区分	実施中	担当課	社会教育課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●民俗芸能の夕べの実施	▽民俗芸能の夕べの実施（中止）	▽民俗芸能の夕べの実施（中止）	○民俗芸能の夕べ兼北緯 40°ナニャトヤラ連邦郷土芸能交流祭の実施（予算額は夕べ分）
事業費(千円)	決算額 598	決算額 80	決算見込額 0	予算額 600

各年度事業の詳細・実績	H30	開催日：平成 31 年２月２日（土） 会　場：八戸市公会堂文化ホール 内　容：湊沖揚音頭保存会男組～湊小学校５年生とともに～、鳥屋部杁組、「八戸小唄」「八幡馬のうた」雅会、霾神社法霊神楽保存会、下北の能舞・蒲野澤青年會（招待出演）。 観客数：457 名
	R１	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	R２	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	R３以降	開催日：令和３年 12 月 18 日（土） 会　場：八戸市公会堂中ホール 内　容：八戸市内の２団体（夕べ枠）のほか、ナニャトヤラ連邦枠として、二戸圏域及び久慈圏域から各１団体、八戸圏域町村から１団体、計５団体が出演予定。

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度及び令和２年度に実施予定であった民俗芸能の夕べが中止となった。

事業６：　文化財の保存・活用事業

事業内容	八戸三社大祭及び八戸えんぶりの文化・技術の継承を図るため、八戸三社大祭に曳き出される山車人形の衣装修理や、八戸えんぶりの詳細調査、映像等記録作成等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	社会教育課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●八戸えんぶりの詳細調査・映像等記録作成に係る事前調査・協議 ●八戸三社大祭に曳き出される山車人形の衣装修理に係る事前調査・協議 ●文化財の管理・活用	●全えんぶり組の詳細調査・報告書等記録作成 ●八戸三社大祭に曳き出される山車人形の衣装修理に係る補助金交付 ●文化財の管理・活用	▽全えんぶり組の詳細調査・報告書等記録作成（一部中止） ●八戸三社大祭に曳き出される山車人形の衣装修理に係る補助金交付 ●清水寺観音堂の茅屋根老朽化に伴う修理補助金交付	○全えんぶり組の詳細調査・報告書等記録作成 ○八戸三社大祭に曳き出される山車人形の衣装修理に係る補助金交付 ○清水寺観音堂の茅屋根老朽化に伴う葺替え等補助金交付
事業費(千円)	決算額　1,797	決算額　3,378	決算見込額　1,573	予算額　7,392

各年度事業の詳細・実績	H30	・えんぶり調査の方針について調査員委嘱予定者・文化庁と打合せを実施 ・山車人形の修理方針について文化庁・専門家と打合せを実施 ・老朽化した文化財説明板２箇所及び標柱２箇所の修繕を実施
	R１	・山車人形「武田信玄」の衣装修理費用を一部補助　796 千円 ・えんぶり組 15 組 個別詳細調査実施
	R２	・山車人形「武田信玄」の衣装修理費用を一部補助　41 千円 ・清水寺観音堂の屋根等保存修理費用を一部補助　965 千円 ・えんぶり関係古文書等文献調査実施
	R３以降	・山車人形「武田信玄」の衣装修理費用を一部補助 ・清水寺観音堂の屋根等保存修理費用の一部補助 ・えんぶり組個別調査・古文書等文献調査・用具調査 ・山車人形「太公望」の衣装修理費用を一部補助（令和４～６年度） ・老朽化した文化財建造物の調査

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度に実施を予定していたえんぶり調査のうち、えんぶり組詳細調査は実施できず、文献調査のみの実施となった。

事業７：　無形民俗文化財後継者養成事業

事業内容	八戸三社大祭及び八戸えんぶりの次世代を担う後継者を育成するため、後継者養成や保存伝承に要する経費の一部を補助するほか、上演会等若手伝承者の活性化や機運醸成を図るイベントを開催する。			
実施区分	実施中	担当課	社会教育課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●無形民俗文化財後継者養成のための支援 ●神楽上演会「山伏神楽 U-30」の開催 ●中・高・大学生を対象に、ボランティア等で八戸三社大祭に参加できる仕組みの検討	●無形民俗文化財後継者養成のための支援 ●神楽上演会「山伏神楽 U-30」の開催 ●学生三社大祭ボランティアの試行	●後継者養成等、無形民俗文化財文化財保護のための支援	○後継者養成等、無形民俗文化財文化財保護のための支援
事業費(千円)	決算額 831	決算額 747	決算見込額 356	予算額 955

各年度事業の詳細・実績	H30	・無形民俗文化財後継者養成補助金交付 高館駒踊保存会他９団体　514 千円 ・八戸三社大祭山車祭り行事保存会補助金交付　100 千円 ・神楽上演会「山伏神楽 U-30」開催　観客数　約 460 人
	R１	・無形民俗文化財後継者養成補助金交付 鮫神楽保存会他９団体　459 千円 ・八戸三社大祭山車祭り行事保存会補助金交付　100 千円 ・神楽上演会「山伏神楽 U-30」開催　観客数　1,323 人 ・学生三社大祭ボランティアの試行 ８月３日～４日の全国山・鉾・屋台保存連合会総会八戸大会のスタッフとして高校生ボランティアが 10 人参加
	R２	・無形民俗文化財保護費補助金交付 八戸三社大祭山車祭り行事保存会、鮫神楽保存会他 11 団体　306 千円
	R３以降	・無形民俗文化財保護費補助金交付 八戸三社大祭山車祭り行事保存会、鮫神楽保存会他 13 団体を予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウィルス感染症の影響により、令和２年度補助金交付団体の行事及び練習が中止となり、補助額が大幅に減少した。

重点施策 12	スポーツのもつ価値を活かしたまちづくりを進めるため、「スポーツ推進計画」を策定するとともに、活動の拠点となるスポーツ施設の整備を推進します。

事業１：　スポーツ推進計画の策定

事業内容	スポーツのもつ価値を活かしたまちづくりを進めるため、八戸市の地域特性を十分に踏まえた「スポーツ推進計画」を策定する。			
実施区分	実施済	担当課	スポーツ振興課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●スポーツ推進計画の策定	－	－	－
事業費(千円)	決算額　29,995	決算額　－	決算見込額　－	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	・（仮称）八戸市スポーツ推進計画案策定の業務委託 ・意見交換会 5 回、「みる」「する」「ささえる」専門部会の開催 ・パブリックコメントの実施　1 回 ・教育委員会からの意見聴取　1 回 ・平成 31 年３月　八戸市スポーツ推進計画の策定
	R１	－
	R２	－
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　八戸市体育施設整備事業

事業内容	スポーツのもつ価値を活かしたまちづくりを進めるため、八戸市体育施設整備に関する基本方針に基づき、スポーツ施設の整備を推進する。			
実施区分	実施中	担当課	スポーツ振興課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●八戸市体育施設整備検討委員会の開催 ●八戸市体育施設整備に関する基本方針の策定	●八戸市体育館の建て替えに向けた検討 ●体育施設の維持保全	●八戸市体育館の建て替えに向けた検討 ●体育施設の維持保全	○八戸市体育施設整備検討委員会の設置 ○八戸市体育館の建て替えに向けた検討 ○体育施設の維持保全
事業費(千円)	決算額　203	決算額　182,878	決算見込額　723,925	予算額　279,317

各年度事業の詳細・実績	H30	・八戸市体育施設整備検討委員会の開催　４回 ・平成 31 年３月　八戸市体育施設整備検討委員会から提出された意見を踏まえ「八戸市体育施設整備に関する基本方針」を策定
	R１	八戸市体育施設整備に関する基本方針に基づき、以下の事業を実施 ・新井田インドアリンク得点掲示板改修工事 ・新井田インドアリンクフェンスボード改修工事 ・多賀多目的運動場実況放送席機能向上工事 ・南郷体育館危険物地下タンク貯蔵所改修修繕 ・体育施設備品更新（屋内トレーニングセンター　トレーニングマシン等）
	R２	八戸市体育施設整備に関する基本方針に基づき、以下の事業を実施 ・多賀多目的運動場天然芝球技場スタジアム照明設備電気工事 ・カッコーの森エコーランド受電設備高圧機器更新工事 ・八戸市体育館柔道畳収納庫除湿機設置 ・八戸市スポーツ研修センター真空ヒーターバーナーの更新 ・南郷屋内温水プール区分開閉器の更新 ・南郷屋内温水プール採暖室電気ヒーターの修繕 ・体育施設備品更新（八戸市体育館　トレーニングマシン等）
	R３以降	八戸市体育施設整備に関する基本方針に基づき、 体育施設の工事や修繕、施設の備品の更新を継続して実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策 13	氷都八戸の再生に向けて、屋内スケート場の建設を進めるとともに、国際大会の誘致や氷都八戸パワーアッププロジェクトを推進します。

事業１：　屋内スケート場建設事業

事業内容	氷都八戸の再生を図るため、国内３番目となるスピードスケートの国際大会が可能な屋内スケート場を建設する。			
実施区分	実施済	担当課	長根屋内スケート場	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●本体工事 ●外構工事	●本体工事 ●外構工事 ●供用開始	－	－
事業費(千円)	決算額　5,096,608	決算額　4,455,457	決算見込額　－	予算額　－

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・平成 28 年９月　本体工事着工 ・平成 30 年 12 月　外構工事着工
	R１	・令和元年６月　本体工事竣工 ・令和元年９月　外構工事竣工、供用開始
	R２	－
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２： 国際大会の誘致

事業内容	氷都八戸の再生を図るため、日本スケート連盟や青森県スケート連盟等と連携しながら、スピードスケートの国際大会を誘致する。			
実施区分	実施中	担当課	長根屋内スケート場	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●日本スケート連盟や青森県スケート連盟等との情報・意見交換 ●スピードスケート国際大会の誘致	●日本スケート連盟や青森県スケート連盟等との情報・意見交換 ●スピードスケート国際大会の誘致	●日本スケート連盟や青森県スケート連盟等との情報・意見交換 ●スピードスケート国際大会の誘致	○日本スケート連盟や青森県スケート連盟等との情報・意見交換 ○スピードスケート国際大会の誘致
	※世界ジュニアスピードスケート選手権大会内定	●世界ジュニアスピードスケート選手権大会開催準備	▽（中止）世界ジュニアスピードスケート選手権大会開催	－
事業費（千円）	決算額 469	決算額 1,354	決算見込額 0	予算額 450

各年度事業の詳細・実績	H30	・日本スケート連盟や青森県スケート連盟との情報、意見交換 ・2018/2019 ISU ワールドカップスピードスケート帯広大会の大会運営視察
	R１	・日本スケート連盟や青森県スケート連盟との情報、意見交換 ・2019/2020 ISU ワールドカップスピードスケート長野大会の大会運営視察 ・2020 ISU 世界ジュニアピードスケート選手権大会の大会運営視察
	R２	・日本スケート連盟や青森県スケート連盟との情報、意見交換 ・2021 ISU 世界ジュニアピードスケート選手権大会開催に係る日本スケート連盟等との大会運営協議、準備
	R３以降	・令和３年度以降も日本スケート連盟や青森県スケート連盟との情報、意見交換を継続し、スピードスケートの国際大会の誘致を目指す

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度に開催予定であった「2020/2021 ISU ジュニアワールドカップスピードスケート大会」、「2021 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会」が中止

事業３：　氷都八戸パワーアッププロジェクト事業

事業内容	氷都八戸の再生を図るため、競技レベルに合わせたスケート教室を実施するとともに、スケート靴やアイスホッケー競技用具の購入費の補助を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	スポーツ振興課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●小学校、幼稚園及び保育園でのスケート教室へ指導者派遣 ●小学生対象のスピードスケート教室開催、周知 ●メダリストの招へい ●小・中学生選手の練習送迎（八戸～盛岡間） ●貸スケート靴の購入 ●中学生対象のスケート競技用具（スピートスケート靴、アイスホッケースティック）の購入補助	●小学校、幼稚園及び保育園でのスケート教室へ指導者派遣 ●小学生対象のスピードスケート教室開催、周知 ●メダリストの招へい ●競技用スピードスケート靴の貸付 ●中学生対象のスケート競技用具（スピートスケート靴、アイスホッケースティック）の購入補助	●小学校、幼稚園及び保育園でのスケート教室へ指導者派遣 ●小学生対象のスピードスケート教室開催、周知 ▽メダリストの招へい（中止） ●競技用スピードスケート靴の貸付 ●中学生対象のスケート競技用具（スピートスケート靴、アイスホッケースティック、フィギュアスケート靴）の購入補助	○小学校、幼稚園及び保育園でのスケート教室へ指導者派遣 ○小学生対象のスピードスケート教室、フィギュアスケート教室開催、周知 ○メダリストの招へい ○競技用スピードスケート靴の貸付 ○中学生対象のスケート競技用具（スピートスケート靴、アイスホッケースティック、フィギュアスケート靴）の購入補助
事業費(千円)	決算額　6,956	決算額　2,495	決算見込額　1,746	予算額　3,647

各年度事業の詳細・実績	H30	・スケート教室への指導者派遣　77 件 延べ 185 人派遣 ・スピードスケート教室開催　9 回 263 人参加 ・メダリストの招へい　2 回 ・競技用スピードスケート靴の貸付　小学生選手へ貸付 60 足 ・小・中学生選手の練習送迎（八戸～盛岡間）　全６日間　利用者延べ 159 人 ・貸スケート靴の購入　160 足購入 ・スケート競技用具の購入補助 　スピードスケート靴　8 人 233,000 円 　アイスホッケースティック　20 人 189,000 円
	Ｒ１	・スケート教室への指導者派遣　77 件 延べ 195 人派遣 ・スピードスケート教室開催　9 回 210 人参加 ・メダリストの招へい　2 回 ・競技用スピードスケート靴の貸付　小学生選手へ貸付 65 足 ・スケート競技用具の購入補助 　スピードスケート靴　10 人 285,000 円 　アイスホッケースティック　20 人 175,000 円
	Ｒ２	・スケート教室への指導者派遣　全 74 件 延べ 239 人派遣 ・スピードスケート教室開催　全４回 143 人参加 ・メダリストの招へい　中止 ・競技用スピードスケート靴の貸付　小学生選手へ貸付 65 足 ・スケート競技用具の購入補助 　スピードスケート靴　13 人 260,000 円 　フィギュアスケート靴　4 人 76,000 円 　アイスホッケースティック　19 人 127,000 円
	Ｒ３以降	・令和３年度以降も継続して事業を実施予定 ・令和３年度より、フィギュアスケート教室を新規開催

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度に予定していたスピードスケート教室全９回のうち５回を中止したほか、メダリストの招へいも中止とした。

重点施策 14	小･中学校の部活動の活性化を図るため、外部指導者の制度拡充など、活動しやすい環境づくりを進めます。

事業１： 小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業

事業内容	小・中学校の部活動が活動しやすい環境づくりを推進するため、指導体制にかかわる支援を行うとともに、地域の実態に即した活動の指針を策定し、周知と活用を図る。			
実施区分	実施中	担当課	学校教育課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●外部指導者への保険料支援 ●「八戸市小学校スポーツ活動中学校運動部活動の指針」策定	●外部指導者への保険料支援 ●指針の周知・活用	●外部指導者への保険料支援 ●指針の周知・活用 ●中学校部活動指導員の配置	○外部指導者への保険料支援 ○指針の周知・活用 ○中学校部活動指導員の配置
事業費(千円)	決算額 1,563	決算額 754	決算見込額 2,176	予算額 4,352

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・外部指導者への保険料支援 565 千円 ・「八戸市小学校スポーツ活動中学校運動部活動の指針」策定
	R１	・外部指導者への保険料支援 754 千円 ・「八戸市小学校スポーツ活動中学校運動部活動の指針」の周知・活用
	R２	・外部指導者への保険料支援 865 千円 ・「八戸市小学校スポーツ活動中学校運動部活動の指針」の周知・活用 ・中学校部活動指導員の配置 ４校４名配置
	R３以降	・外部指導者への保険料支援 ・「八戸市小学校スポーツ活動中学校運動部活動の指針」の周知・活用 ・中学校部活動指導員の配置 ８校８名配置予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策 15	中心市街地のにぎわい創出を図るため、「マチニワ」や更上閣にぎわい広場の整備、電線の地中化等を推進するとともに、民間再開発や、本八戸駅通り、花小路等の整備を促進します。

事業１：　八戸まちなか広場整備事業

事業内容	中心市街地のにぎわい創出を図るため、街なかの「庭」のような役割を担うことを基本コンセプトとし、「緑・水・光」などの中心市街地に不足している自然要素を取り入れた八戸まちなか広場「マチニワ」を整備する。			
実施区分	実施済	担当課	まちづくり推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●供用開始	－	－	－
事業費(千円)	決算額　384,924	決算額　－	決算見込額　－	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	・施設整備工事 ・備品購入、設備整備 ・中心商店街歩行者回遊状況調査 ・平成 30 年７月　供用開始
	R１	－
	R２	－
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　更上閣にぎわい広場整備事業

事業内容	中心市街地のにぎわい創出を図るため、更上閣の歴史的価値や四季折々の景観を楽しめる更上閣にぎわい広場を整備する。			
実施区分	実施済	担当課	まちづくり推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●供用開始 （平成 29 年度末）	－	－	－
事業費(千円)	決算額　0	決算額　－	決算見込額　－	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	平成 30 年２月　供用開始
	R１	－
	R２	－
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業３：　くらしのみちゾーン整備事業

事業内容	中心市街地のにぎわい創出を図るため、「くらしのみちゾーン基本計画」に基づき、電線類の地中化・バリアフリー化を行い、安心・安全でより快適な歩行空間を整備する。			
実施区分	実施中	担当課	道路建設課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●電線共同溝整備	●引込管・連系管路工事委託 ●連系設備補償	●引込管・連系管路工事委託 ●連系設備補償 ●車道舗装工事	○引込管・連系管路工事委託 ○連系設備補償 ○車道舗装工事
事業費(千円)	決算額　177,195	決算額　99,895	決算見込額　147,763	予算額　118,060

各年度事業の詳細・実績	H30	・市道停車場上線　※市道停車場上線：ハナミズキ通り 電線共同溝整備（両側） ・主要地方道八戸大野線（県事業）※主要地方道八戸大野線：三日町～大工町 路線測量業務委託
	R１	・市道停車場上線 引込管・連係管路工事委託、連携設備補償 ・主要地方道八戸大野線（県事業） 電線共同溝予備設計業務委託
	R２	・市道停車場上線 引込管・連係管路工事委託、連携設備補償、車道舗装工事 ・主要地方道八戸大野線（県事業） 電線共同溝詳細設計業務委託
	R３以降	・市道停車場上線ほか１路線 引込管・連係管路工事委託、連携設備補償、車道舗装工事、歩道舗装工事 ・主要地方道八戸大野線（県事業） 支障物件移設補償、電線共同溝整備

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業４：　優良建築物等整備・支援事業

事業内容	中心市街地のにぎわい創出を図るため、集客施設等の都市機能を備えた優良な建築物を整備する民間の再開発事業を支援する。			
実施区分	実施済	担当課	まちづくり推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●八日町地区優良建築物等整備事業への補助 （㈱新八日町プロジェクト）	●八日町地区優良建築物等整備事業への補助 （㈱新八日町プロジェクト）	●八日町地区優良建築物等整備事業への補助 （㈱新八日町プロジェクト）	○引き続き事業化に向けた助言を実施
	●番町・堀端町地区優良建築物等整備事業への補助 （青森銀行）	●番町・堀端町地区優良建築物等整備事業への補助 （青森銀行）	●番町・堀端町地区優良建築物等整備事業への補助 （青森銀行）	
事業費(千円)	決算額　59,179	決算額　207,992	決算見込額　419,080	予算額　0

各年度事業の詳細・実績	H30	・番町・堀端町地区優良建築物等整備事業 地盤調査、基本設計、実施設計等
	R１	・八日町地区優良建築物等整備事業 新築工事　補助金 117,532 千円 ・番町・堀端町地区優良建築物等整備事業 埋蔵文化財調査、解体工事、新築工事　補助金 90,460 千円
	R２	・八日町地区優良建築物等整備事業 新築工事　補助金 249,618 千円 ※令和２年７月　ＤＥＶＥＬＤ八日町オープン ・番町・堀端町地区優良建築物等整備事業 新築工事　補助金 169,462 千円 ※令和２年９月　青森銀行八戸支店移転オープン
	R３以降	・引き続き事業化に向けた助言を実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業５：　本八戸駅通り地区整備事業

事業内容	中心市街地のにぎわい創出を図るため、本八戸駅と都心地区を結ぶ本八戸駅通りを歩いて楽しい通りとして整備する。			
実施区分	実施中	担当課	まちづくり推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●国庫補助を活用したまちづくりの推進 ●まちづくり協議会の活動への支援 ●都市計画道路 3･5･1 号沼館三日町線の整備推進	●国庫補助を活用したまちづくりの推進 ●まちづくり協議会の活動への支援 ●都市計画道路 3･5･1 号沼館三日町線の整備推進	●国庫補助を活用したまちづくりの推進 ●まちづくり協議会の活動への支援 ●都市計画道路 3･5･1 号沼館三日町線の整備推進	○国庫補助を活用したまちづくりの推進 ○まちづくり協議会の活動への支援 ○都市計画道路 3･5･1 号沼館三日町線の整備推進
事業費(千円)	決算額 6,513	決算額 2,493	決算見込額 18,306	予算額 64,003

各年度事業の詳細・実績	H30	・まちづくり協議会へ協議会補助金を交付　1 件　18 千円 ・まちづくり協議会へおもてなし向上推進事業補助金を交付　1 件　113 千円
	R１	・まちづくり協議会へ協議会補助金を交付　1 件　32 千円 ・まちづくり協議会へおもてなし向上推進事業補助金を交付　1 件　200 千円 ・まちづくり協定締結者へ街なみ整備事業補助金を交付　1 件　2,100 千円
	R２	・内丸地区において生活道路の美装化工事を実施(延長 84m)　16,890 千円 ・まちづくり協議会へ協議会補助金を交付　1 件　11 千円 ・まちづくり協議会へおもてなし向上推進事業補助金を交付　1 件　58 千円 ・まちづくり協定締結者へ街なみ整備事業補助金を交付　1 件　1,000 千円
	R３以降	・本八戸駅通りにおいて電線地中化工事およびコミュニティ道路化工事を実施予定 ・内丸地区において生活道路の美装化工事を実施予定 ・各種補助金の交付を継続予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業６：　都市計画道路の整備（3・5・1号沼館三日町線）（県）

事業内容	中心市街地のにぎわい創出を図るため、青森県が実施主体である都市計画道路（3・5・1号沼館三日町線）の早期整備を要望する。			
実施区分	実施中	担当課	道路建設課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	＜県の事業内容＞ ●用地買収 ●補償 ●埋蔵文化財発掘調査 ●工事	＜県の事業内容＞ ●用地買収 ●補償 ●埋蔵文化財発掘調査 ●工事	＜県の事業内容＞ ●用地買収 ●補償 ●埋蔵文化財発掘調査 ●工事	＜県の事業内容＞ ○用地買収 ○補償 ○工事
事業費(千円)	決算額　54,226	決算額　73,262	決算見込額　46,632	予算額　49,500

各年度事業の詳細・実績	H30	・［事業主体：青森県］用地買収・補償、埋蔵文化財発掘調査、工事 市は、事業費の15%を負担 ・市重点施策として、青森県に早期整備を要望
	R１	・［事業主体：青森県］用地買収・補償、埋蔵文化財発掘調査、工事 市は、事業費の15%を負担 ・市重点施策として、青森県に早期整備を要望
	R２	・［事業主体：青森県］用地買収・補償、埋蔵文化財発掘調査、工事 市は、事業費の15%を負担 ・市重点施策として、青森県に早期整備を要望
	R３以降	・［事業主体：青森県］用地買収・補償、工事 市は、事業費の15%を負担 ・市重点施策として、青森県に早期整備を要望予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業７：　花小路整備支援事業

事業内容	中心市街地のにぎわい創出及び若者のまちづくり参画を促進するため、花小路周辺地区まちづくり協議会が八戸工業大学と連携して進めている花小路の路面の美装化及びバリアフリー化等の再整備を支援する。			
実施区分	実施中	担当課	まちづくり推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●実施設計に対する支援	●整備工事に対する支援 ●供用開始	●花小路の地権者等が行う修景整備に対する支援	○花小路の地権者等が行う修景整備に対する支援
事業費(千円)	決算額 4,068	決算額 29,667	決算見込額 1,165	予算額 1,310

各年度事業の詳細・実績	H30	・まちづくり協議会が実施する花小路整備工事実施設計費の一部を補助 3,884 千円
	R１	・まちづくり協議会が実施する花小路整備工事費の一部を補助　29,448 千円 ・令和２年３月　花小路竣工、供用開始
	R２	・花小路に面する地権者等が行う修景整備費の一部を補助　１件 696 千円
	R３以降	・花小路に面する地権者等が行う修景整備費の一部を補助

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策 16	広域圏の玄関口として八戸駅周辺の機能強化を図るため、八戸駅西土地区画整理事業、八戸西スマートインターチェンジの整備、八戸駅西口駅前広場、集客交流拠点「集ゾーン」の整備を推進します。

事業１：　八戸駅西土地区画整理事業

事業内容	広域圏の玄関口として八戸駅周辺の機能強化を図るため、八戸駅西地区において都市基盤施設の整備や宅地造成等を行う区画整理を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	駅西区画整理事業所	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●建物移転、道路及び宅地の整備（都市計画道路 、宅地整地、建物移転 、西口駅前広場）	●建物移転、道路及び宅地の整備（都市計画道路 、宅地整地、建物移転）	●建物移転、道路及び宅地の整備（都市計画道路 、宅地整地、建物移転）	○建物移転、道路及び宅地の整備（都市計画道路 、宅地整地、建物移転）
事業費(千円)	決算額 1,396,000	決算額 1,281,550	決算見込額 1,116,452	予算額 1,045,300

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・駅前広場供用開始 ・八戸駅西地区まちづくり計画策定
	R１	・都市計画道路３・１・１　八戸駅西中央通り線　供用開始 ・「三条未来橋」完成
	R２	・事業計画及び実施計画の第６回変更 総事業 40 億円増額、施行期間５年延伸
	R３以降	・令和３年度以降も事業継続 ・令和 15 年度に事業完了予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　八戸西スマートインターチェンジ整備事業

事業内容	広域圏の玄関口として八戸駅周辺の機能強化を図るため、東北縦貫自動車道八戸線と国道454号の交差部に八戸西スマートインターチェンジを整備する。			
実施区分	実施済	担当課	道路建設課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●土木工事 ●舗装・施設工事等 ●供用開始	●土木工事、舗装・施設工事等（残工事） ●整備効果調査	－	－
事業費(千円)	決算額　250,627	決算額　67,645	決算見込額　－	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	・土木工事、舗装・施設工事等 ・平成31年３月　供用開始 ・平成31年３月23日　「八戸西スマートインターチェンジ※開通式」開催 ※スマートインターチェンジ・・・高速道路の本線上またはサービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）、バスストップ（BS）に設置されているETC専用のインターチェンジ
	R１	・土木工事、舗装・施設工事等（残工事） ・交通量調査、整備効果調査（利用者アンケート調査）実施
	R２	－
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業３：　八戸駅西口駅前広場整備事業

事業内容	広域圏の玄関口として八戸駅周辺の機能強化を図るため、八戸駅の西口側に一般車両用の駐車場やバス・タクシーの駐留プール、広場等を有した駅前広場を整備する。			
実施区分	実施済	担当課	駅西区画整理事業所	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●八戸駅西地区駅前広場機械設備工事 ●供用開始	－	－	－
事業費(千円)	決算額　39,931	決算額　－	決算見込額　－	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	・平成 31 年３月　供用開始
	Ｒ１	－
	Ｒ２	－
	Ｒ３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業４：　集客交流拠点「集ゾーン」整備事業

事業内容	広域圏の玄関口として八戸駅周辺の機能強化を図るため、八戸駅西地区の集客交流拠点「集ゾーン」に多目的アリーナを整備する。			
実施区分	実施済	担当課	駅西区画整理事業所、スポーツ振興課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	（駅西区画整理事業所） ●保留地売却	－	－	－
	（スポーツ振興課） ●土地使用貸借契約の締結 ●多目的アリーナの施設整備に係る補助	（スポーツ振興課） ●多目的アリーナの施設整備に係る補助 ●多目的アリーナの市利用枠に関する協定締結	（スポーツ振興課） ●供用開始	－
事業費（千円）	決算額　820,516	決算額　205,771	決算見込額　0	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	平成30年５月　保留地の取得 平成30年９月　土地使用貸借契約締結 平成30年10月　土地使用貸借開始 平成30年12月　多目的アリーナ着工
	R１	令和２年３月　多目的アリーナ竣工 令和２年３月　多目的アリーナの賃借に関する協定締結
	R２	令和２年４月　多目的アリーナ（フラット八戸）供用開始
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業５：　（仮称）八戸駅西中央公園整備事業

事業内容	広域圏の玄関口として八戸駅周辺の機能強化を図るため、八戸駅西地区の多目的アリーナの隣接地にアリーナと一体的利用が可能な公園を整備する。			
実施区分	実施中	担当課	公園緑地課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●基本設計	●左岸広場実施設計 ●左岸広場工事	●右岸広場実施設計 ●右岸造成工事 ●多目的休憩所工事	○右岸広場工事
事業費(千円)	決算額 7,884	決算額 100,331	決算見込額 102,911	予算額 140,000

各年度事業の詳細・実績	H30	・基本設計　全体 1.65ha ・ワークショップ　3 回
	R１	・左岸広場実施設計 　測量、地質調査、実施設計(左岸 0.65ha)、多目的休憩所設計 ・左岸広場工事 　土工、園路、植栽、ベンチ等
	R２	・右岸広場実施設計 　測量、地質調査、実施設計(右岸 1.00ha) ・右岸造成工事 　土工、側溝等 ・多目的休憩所工事 　男:小×2　大×1、女:大×2、多目的×1、倉庫
	R３以降	・令和３年４月　左岸広場供用開始 ・右岸広場工事 　園路、植栽、ベンチ、遊具等 ・令和４年４月　供用開始予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業６：　八戸駅西地区エリアマネジメント導入推進事業

事業内容	広域圏の玄関口として八戸駅周辺の機能強化を図るため、八戸駅西地区において多目的アリーナを核とした賑わい交流拠点形成のため、エリアマネジメントを導入したまちづくりを推進する。			
実施区分	実施中	担当課	市街地整備課、駅西区画整理事業所	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●エリアマネジメント導入検討調査の実施 ●「八戸駅西地区まちづくり計画“スマート・スポーツシティ”」の策定	●賑わい創出イベントの実施（3x3バスケットボールリーグ） ●まちづくり活動協力メンバーの活動展開 ●まちづくりセンター準備会議の開催	▽駅前大規模保留地の処分方策の検討（中止） ●八戸駅西地区で盛り上がり隊メンバーの活動展開 ●まちづくりセンター準備会議の開催	○駅前大規模保留地の処分方策の検討 ○八戸駅西地区で盛り上がり隊メンバーの活動展開 ○まちづくりセンター準備会議の開催
事業費(千円)	決算額　33,440	決算額　10,731	決算見込額　6,018	予算額　16,074

各年度事業の詳細・実績	H30	・プロポーザルによりエリアマネジメント導入検討調査を㈱三菱総合研究所に委託 ・まちづくりワークショップの開催　ワークショップ２回＋分科会１回開催　一般参加者延べ　118 人 ・「八戸駅西地区まちづくり計画“スマート・スポーツシティ”」を策定
	R１	・賑わい創出イベントの実施（3x3 バスケットボールリーグ等）　来場者数 5,774 人 ・まちづくり活動協力メンバーの活動展開　一般参加者延べ 158 人 ・まちづくりセンター準備会議の開催　7 回
	R２	・八戸駅西地区で盛り上がり隊メンバーの活動展開　一般参加者延べ 143 人 ・まちづくりセンター準備会議の開催　3 回
	R３以降	・駅前大規模保留地の処分方策の検討 ・八戸駅西地区で盛り上がり隊メンバーの活動展開 ・まちづくりセンター準備会議の開催

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度実施予定だった駅前大規模保留地の処分方策の検討を中止し、令和３年度での実施を検討することとした。

政策３　地域の活力創造

重点施策 17	南郷地域におけるワイン用ぶどうの生産拡大、八戸ワインのブランド化、八戸ワインフェスティバルの開催など、八戸ワイン産業創出プロジェクトを推進します。

事業１：　南郷新規作物研究事業

事業内容	南郷地域における八戸ワイン産業創出プロジェクトを推進するため、南郷新規作物研究会議の開催や、ワイン用ぶどうの栽培に関する生産講習会の開催、ワイン用ぶどう苗木の購入への補助等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	農業経営振興センター	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●八戸市南郷新規作物研究会議の開催及び調査の実施 ●ワイン文化の定着に関するセミナー等の開催 ●ワイン用ぶどうの栽培に関する生産講習会の開催 ●ワイン用ぶどう苗木の購入への補助 ●ワイン用ぶどう雨よけ施設整備への補助 ●地域おこし協力隊の委嘱	●八戸市南郷新規作物研究会議の開催及び調査の実施 ●ワイン文化の定着に関するセミナー等の開催 ●ワイン用ぶどうの栽培に関する生産講習会の開催 ●ワイン用ぶどう苗木の購入への補助 ●ワイン生産者が行うワイナリーの整備等への補助 ●地域おこし協力隊の委嘱	●八戸市南郷新規作物研究会議の開催及び調査の実施 ●ワイン文化の定着に関するセミナー等の開催 ●ワイン用ぶどうの栽培に関する生産講習会の開催 ●ワイン用ぶどう苗木の購入への補助 ●ワイン用ぶどう雨よけ施設等整備への補助	○八戸市南郷新規作物研究会議の開催及び調査の実施 ○ワイン文化の定着に関するセミナー等の開催 ○ワイン用ぶどうの栽培に関する生産講習会の開催 ○ワイン用ぶどう苗木の購入への補助 ○ワイン用ぶどう雨よけ施設等整備への補助 ○ワイン生産者が行うワイナリーの整備等への補助 ○地域おこし協力隊の委嘱
事業費(千円)	決算額　27,478	決算額　63,443	決算見込額　11,262	予算額　16,593

各年度事業の詳細・実績	H30	・八戸市南郷新規作物研究会議開催　3 回 ・ワイナリー先進地調査及びワイン用ぶどうに関する調査の実施 ・八戸ワインフェス開催時に、ワイン文化の定着に関するセミナー等を開催　4 イベント、9 回 ・ワイン用ぶどうの栽培に関する生産講習会の開催　4 回 ・ワイン用ぶどう苗木の購入への補助　15,768 千円 ・ワイン用ぶどう雨よけ施設整備への補助　215 千円 ・地域おこし協力隊の委嘱　1 名 【八戸ワイン製造本数】　1,300 本
	R１	・八戸市南郷新規作物研究会議開催　2 回 ・ワイン用ぶどうに関する調査の実施 ・八戸ワインフェス開催時に、ワイン文化の定着に関するセミナー等を開催　4 イベント、9 回 ・ワイン用ぶどうの栽培に関する生産講習会の開催　2 回 ・ワイン用ぶどう苗木の購入への補助　1,296 千円 ・ワイナリーの整備等への補助　50,000 千円 ・地域おこし協力隊の委嘱　1 名 【八戸ワイン製造本数】　3,460 本
	R２	・八戸市南郷新規作物研究会議開催　1 回 ・ワイン用ぶどうに関する調査の実施 ・八戸ワインフェス開催時に、ワイン文化の定着に関するセミナー等を開催　2 イベント、4 回 ・ワイン用ぶどうの栽培に関する生産講習会の開催　1 回 ・ワイン用ぶどう苗木の購入への補助　1,493 千円 ・ワイン用ぶどう雨よけ施設等整備への補助　1,749 千円 【八戸ワイン製造本数】　6,740 本
	R３以降	令和３年度以降も継続して事業を実施予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策 18	農水産品のブランド化と地産地消の拡充を図るため、北米やアジア等での商談会・展示会への参加や、鯖サミット、「マチニワマルシェ」等のＰＲイベントの開催を進めます。

事業１： 海外販路拡大事業

事業内容	農水産品のブランド化を図るため、海外展示会へのブース出展及びバイヤーとのマッチング等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●米国向け法対応セミナー、バイヤー招聘商談会、個別相談会の実施 ●米国向け現地輸入業者への営業活動及び現地小売店でのデモ販売 ●ASEAN 向けバイヤー招聘商談会、通年マッチング支援の実施 ●ASEAN 向け現地輸入業者への営業活動代行及び現地小売店でのデモ販売・プロモーション ●海外への販売促進のための協力・支援 ●世界黒にんにくサミット in 八戸 2018（H30）開催支援	●海外販路拡大セミナーの開催 ●ASEAN 向けバイヤー招聘商談会、通年マッチング支援の実施 ●ASEAN 向け現地輸入業者への営業活動代行及び現地小売店でのデモ販売・プロモーション ●海外への販売促進のための協力・支援	●商談スキルアップ講座の開催 ●ASEAN 向けバイヤー招聘商談会（オンライン商談会に変更）、通年マッチング支援の実施 ●ASEAN 向け現地輸入業者への営業活動代行及び現地小売店でのデモ販売・プロモーション ●海外への販売促進のための協力・支援	○米国向け現地輸入業者への営業活動及び現地レストランでのプロモーション、勉強会 ○ASEAN 向け国内バイヤー招聘商談会、通年マッチング支援の実施 ○ASEAN 向け現地輸入業者への営業活動代行及び現地小売店でのデモ販売・プロモーション ○海外への販売促進のための協力・支援
事業費（千円）	決算額 16,136	決算額 11,145	決算見込額 7,653	予算額 14,474

各年度事業の詳細・実績	H30	・八戸圏域地場産品海外販路拡大セミナー開催　参加 24 人 ・米国食品安全強化法対応セミナー開催　参加 17 人、うち企業 12 社 15 人 ・ＰＣＱＩ（予防管理有資格者）養成ワークショップ開催　企業 15 社 17 人 ・米国バイヤー招聘輸出商談会開催　招聘者 4 社、参加企業 12 社 ・米国向け食品輸出個別相談会の開催　相談 3 件 ・米国現地活動を実施（市場視察、デモンストレーション販売） ・ASEAN 向けバイヤー招聘商談会開催 招聘者 6 社（ベトナム 4 社・国内 2 社）、参加企業 24 社・113 商品、商談件数 123 件 ・ベトナム現地営業代行を実施 営業代行先 5 社、対象企業 6 社、商品数 36 品 ・ベトナム現地活動を実施 デモンストレーション販売・レストランプロモーション　計 2 回 ・世界黒にんにくサミット in 八戸 2018 開催費用を補助　200 千円
	Ｒ１	・八戸圏域地場産品海外販路拡大セミナー開催 参加 44 人、うちメーカー17 社 ・商談スキルアップ講座開催　参加企業 20 社 ・ASEAN 向けバイヤー招聘商談会開催 招聘者 7 社（ベトナム 5 社、国内 2 社）、参加企業 24 社・111 商品以上、商談件数 134 件 ・ベトナム現地営業代行を実施 営業代行先 6 社、対象企業 11 社、商品数 19 品 ・ベトナム現地活動を実施 デモンストレーション販売・レストランプロモーション　計 2 回 ・ベトナム現地営業を実施 計 2 回実施、計営業先 17 社、対象企業 6 社、商品数 35 品
	Ｒ２	・商談スキルアップ講座開催（オンライン模擬商談）　参加企業 10 社 ・ASEAN 向けオンライン商談会開催 参加バイヤー11 社（ベトナム 5 社、シンガポール 4 社、国内 2 社） 参加企業 13 社・72 商品以上、商談件数 55 件 ・ベトナム現地営業代行を実施 営業代行先 6 社、対象企業 5 社、商品数 5 商品 ・ベトナム現地活動を実施 デモンストレーション販売を業務受託者の現地スタッフにより実施
	Ｒ３以降	・米国向け現地輸入業者への営業活動及び現地レストランでのプロモーションを実施 ・米国輸出に向けた勉強会開催 ・ASEAN 向け国内バイヤー招聘商談会開催 ・ベトナム現地活動を実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航が困難となったため、令和２年度に実施予定であったバイヤー招聘商談会をオンラインに切り替えたほか、現地活動は業務受託者の現地スタッフにより実施した。令和３年度実施予定の国内バイヤー招聘商談会についても、国内の感染状況により開催手法を検討する。

事業２：　水産物流通加工振興事業

事業内容	農水産品のブランド化と地産地消の拡充を図るため、鯖サミットを開催する。			
実施区分	実施済	担当課	水産事務所	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●鯖サミットの開催について調査・検討	●鯖サミットの開催	－	－
事業費(千円)	決算額　517	決算額　4,622	決算見込額　－	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	・鯖サミットの開催に向けた関係団体等との意見調整の実施
	R１	・令和元年 11 月２日～３日　「鯖サミット 2019 in 八戸」を開催 会場 八食センター、県内外の約 40 店舗出店、来場者 35,000 人
	R２	－
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業３： 八戸まちなか広場事業

事業内容	農水産品のブランド化と地産地消の拡充を図るため、圏域の農産物等を提供するマチニワマルシェや市民が主体で開催するイベント等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	八戸ポータルミュージアム	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●プレイベントの実施 ●オープニングイベントの実施 ●マチニワマルシェ、ステージイベント等の実施 ●情報発信（ホームページ制作、広報等）	●マチニワマルシェ、ステージイベント等の実施 ●マチニワ活用事業補助金の交付 ●情報発信（ホームページ、広報等）	●マチニワマルシェ、ステージイベント等の実施 ●マチニワ活用事業補助金の交付 ●情報発信（ホームページ、広報等）	○マチニワマルシェ、ステージイベント等の実施 ○情報発信（ホームページ、広報等）
事業費(千円)	決算額 17,243	決算額 7,651	決算見込額 5,195	予算額 5,000

各年度事業の詳細・実績	H30	・オープニングイベントやクリスマス装飾、氷の彫刻展示など賑わいを創出するイベントを実施 ・圏域市町村の食材、物産等を提供する「マチニワマルシェ」を開催 ・マチニワを活用して実施するイベント等に対し補助金を交付 4 件　990,461 円
	R１	・大道芸フェスティバルやクリスマス・節分など賑わいを創出するイベントを実施 ・圏域市町村の食材、物産等を提供する「マチニワマルシェ」を開催 ・マチニワを活用して実施するイベント等に対し補助金を交付 4 件　800,000 円
	R２	・大道芸フェスティバルやクリスマス・節分など賑わいを創出するイベントを実施 ・圏域市町村の食材、物産等を提供する「マチニワマルシェ」を開催 ・マチニワを活用して実施するイベント等に対し補助金を交付 4 件　705,400 円
	R３以降	・マチニワを活用した賑わいを創出するイベントを実施 ・圏域市町村の食材、物産等を提供する「マチニワマルシェ」を開催

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント内容の変更や一部縮小して実施。

重点施策 19	畜産の国内一大基地化をめざして、八戸地域畜産振興会議を中心に、ブランド化やＰＲ強化、地産地消の推進など、八戸地域畜産関連産業振興ビジョンに掲げる各種施策を推進します。

事業１： 畜産関連産業振興事業

事業内容	畜産の国内一大基地化を推進するため、八戸地域畜産関連産業振興ビジョンに基づき、八戸地域畜産振興推進会議の設置や八戸地域畜産フードフェア等のイベントを開催する。			
実施区分	実施中	担当課	農林畜産課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●八戸地域畜産関連産業振興ビジョンに基づき、八戸地域畜産振興推進会議を設置 ●八戸地域畜産フードフェア等イベントの開催 ●調査、情報交換の実施	●八戸地域畜産振興推進会議の開催 ●八戸地域畜産フードフェア等イベントの開催 ●堆きゅう肥マップの作成	●八戸地域畜産振興推進会議の開催 ▽八戸地域畜産フードフェスタ等イベントの開催（中止） ●肥料（特殊肥料）生産情報マップ（旧堆きゅう肥マップ）の作成	○八戸地域畜産振興推進会議の開催 ○八戸地域畜産フードフェスタ等イベントの開催 ○肥料（特殊肥料）生産情報マップ
事業費（千円）	決算額 2,163	決算額 2,004	決算見込額 34	予算額 2,461

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・八戸地域畜産振興推進会議設置 ・八戸地域畜産フードフェア開催　来場者約 4,600 人、親子ちくさん探検バスツアー開催　14 組 34 名、堆きゅう肥マップ作成　配布約 4,250 部
	R１	・八戸地域畜産振興推進会議　１回 ・八戸地域畜産フードフェスタ　来場者約 9,000 人、親子ちくさん探検バスツアー開催　15 組 38 名、堆きゅう肥マップ作成　配布約 4,200 部
	R２	・八戸地域畜産振興推進会議　書面開催 ・八戸地域畜産フードフェスタ（中止）、親子ちくさん探検バスツアー（中止）、肥料（特殊肥料）生産情報マップ作成　配布約 4,100 部
	R３以降	令和３年度以降も継続して事業を実施予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度実施予定の「八戸地域畜産フードフェスタ」、「親子ちくさん探検バスツアー」を中止した。

重点施策 20	市場を核とした「みなと八戸」の振興に向けて、荷捌き所Ｄ棟の整備と陸奥湊駅前の再開発の促進を図るとともに、産地競争における八戸漁港の優位性を整え、漁船誘致を推進します。

事業１：　魚市場機能整備事業

事業内容	市場を核とした「みなと八戸」の振興を図るため、衛生管理の高度化に対応した荷捌き所Ｄ棟を整備する。			
実施区分	実施中	担当課	水産事務所	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●第二魚市場荷さばき所解体工事 ●Ｄ棟排水路移設工事 ●Ｄ棟改築工事	●Ｄ棟改築等工事	●Ｄ棟改築等工事 ●Ｄ棟改築等工事完了	○供用開始
事業費（千円）	決算額　441,487	決算額　1,316,138	決算見込額　1,787,949	予算額　0

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・旧第二魚市場解体工事、Ｄ棟排水路移設工事、 Ｄ棟建築・電気・機械設備工事
	Ｒ１	・Ｄ棟改築等工事
	Ｒ２	・令和３年２月　Ｄ棟改築等工事完了
	Ｒ３以降	・令和３年４月　供用開始

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　市場を核とした湊地区まちづくり事業

事業内容	市場を核とした「みなと八戸」の振興を図るため、陸奥湊駅前地区において、老朽化した市場の再整備を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	まちづくり推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●まちづくり調査業務の実施	●魚菜市場整備方針の検討（耐震診断の実施）	●魚菜市場基本・実施設計	○魚菜市場耐震改修等工事
	●地権者や八戸みなとまちづくり協議会との意見交換、協議 ●湊地区のまちづくりに関する庁内連絡会議の開催	●陸奥湊駅通り地区まちづくり協議会に対する支援 ●関係機関との協議	●陸奥湊駅通り地区まちづくり協議会に対する支援 ●関係機関との協議	○陸奥湊駅通り地区まちづくり協議会に対する支援 ○関係機関との協議
事業費(千円)	決算額　22,913	決算額　6,601	決算見込額　17,517	予算額　537,662

各年度事業の詳細・実績	H30	・市場を核とした湊・小中野地区まちづくり調査業務委託 ・地権者との協議 2回、みなとまちづくり協議会との意見交換 3回 ・庁内連絡会議 1回
	R１	・八戸市営魚菜小売市場耐震診断業務委託 診断結果：耐震補強の必要性が判明 ２階減築・リノベーションで整備する方針を決定 ・まちづくり協議会との協議（例月）、地権者・八戸市魚菜商業協同組合と協議 ・まちづくり協議会へ補助金を交付　1,423 千円 目的：協議会活動費用及び民間整備事業主体設立費用の支援
	R２	・八戸市営魚菜小売市場基本・実施設計業務委託 ・まちづくり協議会との協議（例月）、地権者・八戸市魚菜商業協同組合と協議 ・まちづくり協議会へ補助金を交付　2,470 千円
	R３以降	・令和３年４月　八戸市営魚菜小売市場改修等工事着工 ※令和４年　リニューアルオープン予定 ・まちづくり協議会・地権者・八戸市魚菜商業協同組合との協議を継続 ・まちづくり協議会へ補助金を交付　2,500 千円

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業３： 漁船誘致推進事業

事業内容	市場を核とした「みなと八戸」の振興を図るため、県外のまき網漁船の船主や東京都の北部太平洋まき網漁業協同組連合会を訪問し、漁船誘致を推進する。			
実施区分	実施中	担当課	水産事務所	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●まき網漁船の船主への訪問 （茨城県 12 社、千葉県 3 社、宮城県 1 社、福島県 2 社、静岡県 2 社、計 20 社） ●東京都の北部太平洋まき網漁業協同組連合会への訪問	●まき網漁船の船主への訪問 （茨城県 13 社、千葉県 3 社、宮城県 1 社、福島県 2 社、静岡県 2 社、三重県 1 社、鳥取県 2 社、計 24 社）	●まき網漁船の船主への訪問（書面での誘致活動に変更）	○まき網漁船の船主への訪問（令和元年度と同程度の船主を予定）
事業費(千円)	決算額 422	決算額 378	決算見込額 14	予算額 566

各年度事業の詳細・実績	H30	・水揚げの増大を図るため、船主を訪問し、八戸漁港・魚市場の優位性をＰＲ (茨城県 12 社、千葉県 3 社、宮城県 1 社、福島県 2 社、静岡県 2 社、計 20 社) ・東京都の北部太平洋まき網漁業協同組連合会を訪問
	Ｒ１	・水揚げの増大を図るため、船主を訪問し、八戸漁港・魚市場の優位性をＰＲ （茨城県 13 社、千葉県 3 社、宮城県 1 社、福島県 2 社、静岡県 2 社、三重県 1 社、鳥取県 2 社、計 24 社）
	Ｒ２	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面でのＰＲを実施
	Ｒ３以降	・水揚げの増大を図るため、船主を訪問し、八戸漁港・魚市場の優位性をＰＲ

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度に予定していた船主訪問を取りやめ、書面による誘致活動を実施した。

重点施策 21	観光による地方創生をめざして、地域の「稼ぐ力」を引き出す「はちのへＤＭＯ」を設立するとともに、三陸復興国立公園に指定された蕪島や種差海岸の整備を進めます。

事業１： 広域観光推進事業

事業内容	観光による地方創生をめざして、地域の「稼ぐ力」を引き出すDMO「ＶＩＳＩＴはちのへ」設立に向けた、統合団体の合併手続き等を支援する。			
実施区分	実施済	担当課	観光課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●ＤＭＯ設立に係る関係団体統合手続き等の支援	●ＤＭＯ「VISIT はちのへ」設立 ●「VISIT はちのへ」への補助	－ ●「VISIT はちのへ」への補助	－ ○「VISIT はちのへ」への補助
事業費(千円)	決算額 18,258	決算額 180,881	決算見込額 153,415	予算額 180,000

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・DMO 設立に関する法律相談、関係団体統合に要する行政庁への届出をはじめとした各種手続き等を支援 ・八戸広域観光推進協議会において、関係町村と DMO 組織設立について協議を行ったほか、旅行商品の造成や八戸圏域のプロモーションを実施 ・広域観光パンフレットを作成
	Ｒ１	・平成 31 年４月　「(一財) VISIT はちのへ」設立 ・(一財) VISIT はちのへが実施する誘客推進事業、物産振興事業等に対し補助金を交付し、各種事業の実施を支援
	Ｒ２	・(一財) VISIT はちのへが実施する誘客推進事業、物産振興事業等に対し補助金を交付し、各種事業の実施を支援 ・地域観光関連事業者のコロナ禍からの早期回復等を目的に（一財）VISIT はちのへが実施した観光ポータルサイトの整備を支援　19,996 千円 ・八戸花火大会の開催にあたり、新型コロナウイルスの感染予防対策に要する経費を支援　2,000 千円 ・新型コロナウイルスの影響により八戸三社大祭が規模縮小での開催となったことに伴う八戸三社大祭関連団体への支援　16,649 千円
	Ｒ３以降	・(一財) VISIT はちのへが実施する各種事業への支援を継続

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または規模を縮小した事業があった一方で、新型コロナウイルス感染症対策として VISIT はちのへが追加で実施した各種事業への支援を行った。

事業２：　蕪島エントランス整備事業

事業内容	観光による地方創生を推進するため、蕪島地区に広場、歩道、ウッドデッキ、プロムナード公園、物産販売施設等を整備する。			
実施区分	実施済	担当課	観光課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●多目的広場トイレの洋式化及び外観等の修繕 ●プロムナード公園の条例制定等	－	－	－
	●蕪島地区物産販売施設基本・実施設計、地質調査 ●駐車場整備の検討	●物産販売施設整備工事 ●物産販売施設運営事業者の公募 ●物産販売施設愛称等の公募 ●駐車場整備の検討	●物産販売施設オープン ●物産販売施設維持管理 ●駐車場整備の検討、整備等 ●臨時駐車場の開設	－
事業費(千円)	決算額　67,462	決算額　127,332	決算見込額　6,525	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	・物産販売施設の基本・実施設計、地質調査 ・駐車場整備の検討
	R１	・物産販売施設整備工事 ・物産販売施設運営事業者の公募・選定 ・物産販売施設愛称公募　応募件数 453 件、「かぶーにゃ」に決定 ・駐車場候補地の調査・検討
	R２	・令和２年５月　物産販売施設（かぶーにゃ）オープン ・令和２年７月～９月　臨時駐車場開設
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業３：　（仮称）新潮観荘整備事業

事業内容	観光による地方創生を推進するため、吉田初三郎をはじめとする種差海岸にゆかりのある文人墨客を紹介するとともに、観光案内等の機能をもった施設として（仮称）新潮観荘を整備する。			
実施区分	検討中	担当課	観光課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●庁内関係課との協議 ●関係機関団体との協議	●庁内関係課との協議 ●関係機関団体との協議	●庁内関係課との協議 ●関係機関団体との協議 ●基本方針の作成	○近隣公共施設との複合的整備に関する調査・研究
事業費(千円)	決算額　0	決算額　0	決算見込額　0	予算額　0

各年度事業の詳細・実績	H30	・将来的な整備可能性の調査・研究 ・関係部署との協議
	R１	・将来的な整備可能性の調査・研究 ・関係部署との協議
	R２	・（仮称）新潮観荘構想検討ワーキンググループ会議の開催　３回 ・（仮称）新潮観荘整備事業の基本方針を作成
	R３以降	・近隣公共施設との複合的整備に関する調査・研究 ・ソフト事業の実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由
今後予定されている周辺の公共施設の建替え期に合わせて、複合化・多機能化による整備を検討し、当面の間は、各種ソフト事業を実施する予定。

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業４：　観光地施設整備事業

事業内容	観光による地方創生を推進するため、種差海岸の遊歩道や案内板等の整備、既存の遊歩道やトイレの維持管理等、観光関連施設を整備・改修する。			
実施区分	実施中	担当課	観光課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●種差海岸遊歩道修繕 ●種差海岸公衆便所浄化槽維持管理 ●種差海岸風致保護及び清掃 ●種差海岸芝生等草刈及び清掃 ●種差海岸内遊歩道危険木除去 ●葦毛崎展望台強度調査 ●葦毛崎展望台説明看板撤去処分 ●葦毛崎展望台注意喚起看板制作等 ●葦毛崎公衆便所建具等交換修繕	●種差海岸遊歩道修繕 ●種差海岸公衆便所浄化槽維持管理及び清掃 ●種差海岸風致保護及び清掃 ●種差海岸芝生等草刈及び清掃	●種差海岸遊歩道修繕 ●種差海岸公衆便所浄化槽維持管理及び清掃 ●種差海岸風致保護及び清掃 ●種差海岸芝生等草刈及び清掃 ●葦毛崎展望台補修実施設計 ●田村崎歩道復旧工事	○種差海岸遊歩道修繕 ○種差海岸公衆便所浄化槽維持管理及び清掃 ○種差海岸風致保護及び清掃 ○種差海岸芝生等草刈及び清掃 ○種差海岸観光地ごみ収集運搬処理 ○種差海岸公衆便所清掃 ○種差天然芝生地等芝生保護資材設置 ○葦毛崎展望休憩所改修工事
事業費（千円）	決算額　24,650	決算額　16,729	決算見込額　27,400	予算額　54,591

各年度事業の詳細・実績	H30	・施設修繕、清掃、維持管理等の業務実施 ・葦毛崎展望台の強度調査
	R１	・施設修繕、清掃、維持管理等の業務実施
	R２	・施設修繕、清掃、維持管理等の業務実施 ・田村崎歩道復旧工事 ・葦毛崎展望台の改修工事に向けた実施設計
	R３以降	・施設修繕、清掃、維持管理等の業務は、これまでの取組を継続して実施 ・令和３年度中に葦毛崎展望台の改修工事を実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策 22	**地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、新産業団地の開発を推進するとともに、多様な企業の誘致に向けて、自ら先頭に立ってトップセールスに積極的に取り組みます。また、八戸港の物流拠点化に向けて、国内外でのポートセールスを戦略的に推進します。**

事業１： 新産業団地整備・開発推進事業

事業内容	地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、当市産業の発展を支える企業の立地に備え、将来を見据えた新たな産業団地を整備する。			
実施区分	実施中	担当課	産業労政課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●基本設計 ●用地調査 ●地質調査	●実施設計 ●地質調査 ●用地買収 ●移転補償	●用地買収 ●移転補償 ●工事 ●埋蔵文化財発掘調査	○工事 ○埋蔵文化財発掘調査
事業費（千円）	決算額 239,565	決算額 588,776	決算見込額 524,738	予算額 951,100

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・基本設計（諸施設の比較設計、工事計画の立案、概算事業費の算定等） ・測量調査（用地測量・補償物件、地質調査） ・地権者対応（地権者説明会の開催、用地交渉） ・法規制等関係機関との調整
	R１	・実施設計（諸施設の詳細設計、施工計画、工事費産出等）、地質調査 ・地権者対応（土地買収・移転補償） ・法規制等関係機関との調整
	R２	・地権者対応（土地買収・移転補償） ・工事（造成、調整池等）、関係機関との調整（公共施設管理者等） ・地下水水質調査、埋蔵文化財発掘調査
	R３以降	・工事（造成、調整池、道路等） ・埋蔵文化財発掘調査 ・令和６年度中の分譲開始予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　企業誘致セミナー開催事業

事業内容	地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、首都圏及び中部圏の企業に対して、当市の産業政策、立地環境並びに八戸港の魅力をＰＲするセミナーを開催する。			
実施区分	実施中	担当課	産業労政課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●八戸セミナー2018の開催（東京） ●八戸セミナー2018 in 名古屋の開催	●八戸セミナー2019の開催（東京） ●八戸セミナー2019 in 名古屋の開催	▽八戸セミナー2020の開催（中止） ●八戸産業立地オンラインフェアの実施	○八戸セミナー2021の開催（東京等）
事業費(千円)	決算額 6,181	決算額 6,222	決算見込額 1,720	予算額 7,386

各年度事業の詳細・実績	H30	・東京会場 開催日：7 月 25 日 会　場：東京ドームホテル　参加者数 359 名 ・名古屋会場 開催日：7 月 26 日 会　場：名古屋マリオットアソシアホテル　参加者数 89 名
	R１	・東京会場 開催日：7 月 24 日 会　場：東京ドームホテル　参加者数 400 名 ・名古屋会場 開催日：7 月 25 日 会　場：名古屋マリオットアソシアホテル　参加者数 87 名
	R２	・東京会場・名古屋会場 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止し、代替イベントとして八戸産業立地オンラインフェアを開催。 開 催 日：10 月 1 日～12 月 28 日 訪問者数：751 ユーザー 相 談 数：2 件
	R３以降	・東京会場 開催日：11 月予定 ※新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら開催判断

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和２年度は代替イベントを開催した。

事業３：　トップセールス推進事業

事業内容	地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、立地企業や誘致活動中の企業に対してトップセールスを実施する。			
実施区分	実施中	担当課	産業労政課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●誘致活動中の企業及び既立地企業に対するトップセールスの実施	●誘致活動中の企業及び既立地企業に対するトップセールスの実施	●誘致活動中の企業及び既立地企業に対するトップセールスの実施	○誘致活動中の企業及び既立地企業に対するトップセールスの実施
事業費(千円)	決算額 291	決算額 110	決算見込額 0	予算額 321

各年度事業の詳細・実績	H30	・誘致活動中の企業及び既立地企業に対するトップセールスの実施 市長７件、副市長５件
	R１	・誘致活動中の企業及び既立地企業に対するトップセールスの実施 市長 12 件、副市長５件
	R２	・誘致活動中の企業及び既立地企業に対するトップセールスの実施 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い企業訪問が制限されたことから、企業誘致セミナーの代替イベント「八戸産業立地オンラインフェア」で、市長が動画メッセージにより当市をＰＲ
	R３以降	・誘致活動中の企業及び既立地企業に対するトップセールスの実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い企業訪問が制限されたことから、企業誘致セミナーの代替イベント「八戸産業立地オンラインフェア」で、市長が動画メッセージにより当市をＰＲ

事業４：　ポートセールス活動の実施

事業内容	八戸港の物流拠点化を推進するため、企業訪問等によるポートセールス活動を実施するとともに、海外及び首都圏等においてポートセミナーを開催する。			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●企業訪問 ●海外ポートセールス（台湾） ●国内ポートセミナー（東京、名古屋） ●情報誌の発行 ●八戸港コンテナ定期航路開設促進事業費補助金	●企業訪問 ●海外ポートセールス（韓国） ●国内ポートセミナー（東京、名古屋） ●情報誌の発行 ●八戸港コンテナ定期航路開設促進事業費補助金 ●八戸港コンテナ貨物利用促進事業費補助金	●企業訪問 ▽海外ポートセールス（フィリピン）（中止） ●国内ポートセミナー（東京、名古屋）※八戸産業立地オンラインフェアの実施に変更 ●情報誌の発行 ●八戸港コンテナ定期航路開設促進事業費補助金 ●八戸港コンテナ貨物利用促進事業費補助金	○企業訪問 ○海外ポートセールス（フィリピン） ○国内ポートセミナー（東京） ○情報誌の発行 ○八戸港国際定期コンテナ航路運航支援事業費補助金 ○八戸港新規・シフト貨物集貨促進事業費補助金
事業費(千円)	決算額　9,795	決算額　13,404	決算見込額　11,425	予算額　28,255

各年度事業の詳細・実績	H30	・企業訪問　147 件 ・八戸港コンテナ定期航路開設促進事業費補助金　0 件	
	R１	・企業訪問　159 件 ・八戸港コンテナ定期航路開設促進事業費補助金　0 件 ・八戸港コンテナ貨物利用促進事業費補助金　26 件	4,194 千円
	R２	・企業訪問　62 件 ・八戸産業立地オンラインフェア ・八戸港コンテナ定期航路開設促進事業費補助金　0 件 ・八戸港コンテナ貨物利用促進事業費補助金　31 件	5,426 千円
	R３以降	・令和３年度以降も継続して事業を実施予定	

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度実施予定だった海外ポートセールスを中止した。

重点施策 23	地元中小企業の経営強化を図るため、各種融資制度の活用や企業間連携を促進するとともに、起業・創業・事業継承を支援します。

事業１：　中小企業特別保証制度

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、資金調達の困難な小規模事業者が融資を受ける場合に、当市が信用保証料を補給し、安定した企業経営を支援する。			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●保証料の補給	●保証料の補給	●保証料の補給	○保証料の補給
事業費(千円)	決算額　118,819	決算額　125,435	決算見込額　56,949	予算額　85,000

各年度事業の詳細・実績	H30	【保証料補給実績】 ① 小口特別保証　46,970,769 円 ② 小口零細企業保証　20,998,558 円 ③ 商工業設備投資資金　40,653,008 円 ④ 「選ばれる青森」（創業）　10,195,813 円
	R１	【保証料補給実績】 ① 小口特別保証　46,091,248 円 ② 小口零細企業保証　14,242,046 円 ③ 商工業設備投資資金　53,135,632 円 ④ 「選ばれる青森」（創業）　12,065,676 円
	R２	【保証料補給実績】 ① 小口特別保証　19,790,452 円 ② 小口零細企業保証　6,231,991 円 ③ 商工業設備投資資金　23,573,970 円 ④ 「選ばれる青森」（創業）　7,351,620 円
	R３以降	【保証料補給見込額】 ① 小口特別保証 ┐ ② 小口零細企業保証 ┘ 計 48,000,000 円 ③ 商工業設備投資資金　28,900,000 円 ④ 「選ばれる青森」（創業）　8,000,000 円 ⑤ 「選ばれる青森」（承継）　100,000 円（新設）

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　中小企業振興資金

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、資金調達の困難な企業組合等への資金の円滑化を促進し、安定した企業経営を支援する。			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●㈱商工組合中央金庫に対し貸付資金を預託	●㈱商工組合中央金庫に対し貸付資金を預託	●㈱商工組合中央金庫に対し貸付資金を預託	○㈱商工組合中央金庫に対し貸付資金を預託
事業費(千円)	決算額　100,000	決算額　100,000	決算見込額　50,000	予算額　50,000

各年度事業の詳細・実績	H30	預託額　100,000 千円
	R１	預託額　100,000 千円
	R２	預託額　50,000 千円
	R３以降	預託額　50,000 千円

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業３：　マル経融資利子補給事業

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、利子補給事業の実施により、マル経融資の利用を促進するとともに、マル経融資本来の目的である融資と併せた商工会議所及び商工会経営指導員による経営改善を行うことで、安定した企業経営を支援する。			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●利子補給の実施	●利子補給の実施	●利子補給の実施	○利子補給の実施
事業費(千円)	決算額 6,646	決算額 6,888	決算見込額 6,339	予算額 8,500

各年度事業の詳細・実績	H30	【利子補給実績】 H27 借入分　961 千円 H28 借入分　1,476 千円 H29 借入分　2,822 千円 H30 借入分　1,389 千円
	R１	【利子補給実績】 H28 借入分　507 千円 H29 借入分　2,107 千円 H30 借入分　2,305 千円 R１借入分　1,969 千円
	R２	【利子補給実績】 H29 借入分　1,220 千円 H30 借入分　2,112 千円 R１借入分　3,139 千円 R２借入分　2,167 千円
	R３以降	【利子補給見込額】 H30 借入分　929 千円 R１借入分　2,507 千円 R２借入分　3,139 千円 R３借入分　2,167 千円

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業４：　販路開拓活動支援事業

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、首都圏等における展示会等出展支援や専門家を活用したアドバイスにより販路開拓活動を支援する。			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●販路開拓活動支援セミナーの開催 ●首都圏等で開催するものづくり分野の展示商談会への出展支援 ●専門家による販路開拓活動に関する支援	●専門家による販路開拓活動に関する支援	事業 04、05、06 を集約し 2020 年度から地域企業支援体制強化事業として事業を継続	
事業費(千円)	決算額　2,631	決算額　1,649	決算見込額　0	予算額　－

各年度事業の詳細・実績	H30	・販路開拓活動支援セミナーの開催　1 回 ・展示商談会への出展支援　4 件 ・販路開拓活動の支援　7 件
	R１	・販路開拓活動の支援　10 件
	R２	－
	R３以降	－

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業５：　新商品・新サービス開発支援事業

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、支援環境整備に向けて支援機関の連携を強化する会議を開催するとともに、国・県等の支援施策の活用に向けた説明会等の開催及び域外需要向けの商品開発を支援する。			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●八戸圏域産学官金連携会議の開催 ●地域製造業の新商品・新サービス開発活動に向けた施策説明会等の開催 ●域外需要向け商品開発支援補助金の創設	●八戸圏域産学官金連携会議の開催 ●地域製造業の新商品・新サービス開発活動に向けた施策説明会等の開催	事業 04、05、06 を集約し 2020 年度から地域企業支援体制強化事業として事業を継続	
事業費(千円)	決算額　1,308	決算額　595	決算見込額　0	予算額　―

各年度事業の詳細・実績	H30	・八戸圏域産学官金連携会議の開催　3 回 ・施策説明会等の開催　参加者　162 人 ・域外需要向け商品開発支援補助金の創設　補助支援　4 件
	R１	・八戸圏域産学官金連携会議の開催　2 回 ・施策説明会等の開催　参加者　141 人
	R２	―
	R３以降	―

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業６：　課題発掘支援・課題解決コーディネート事業

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、売上の拡大や新商品・新サービスの開発、経営課題等について、コーディネーターを派遣し、自社の強みの整理や課題の発掘を支援するとともに、課題に対して解決に向けたコーディネートを実施する。また支援環境整備に向けて支援機関の連携を強化する会議及び、国・県等の支援施策の活用に向けた説明会等を開催する。 ※事業 04、05、06 を集約し 2020 年度から地域企業支援体制強化事業として事業を継続			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●コーディネーターによる地域製造業の課題発掘 ●課題解決に向けたコーディネート業務	●コーディネーターによる地域製造業の課題発掘 ●課題解決に向けたコーディネート業務	●コーディネーターによる地域製造業の課題発掘 ●課題解決に向けたコーディネート業務	○コーディネーターによる地域製造業の課題発掘 ○課題解決に向けたコーディネート業務 ○地域内行政機関・支援機関で産学官金連携会議を開催 ○施策説明会等を開催
事業費(千円)	決算額　3,166	決算額　2,773	決算見込額　3,512	予算額　5,000

各年度事業の詳細・実績	H30	・コーディネーターによる企業訪問　94 件
	R１	・コーディネーターによる企業訪問　85 件
	R２	・コーディネーターによる企業訪問　90 件
	R３以降	・コーディネーターによる企業訪問 ・地域内行政機関・支援機関で産学官金連携会議を開催 ・施策説明会等を開催

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業７：　革新的ものづくり企業連携促進事業

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、競争的研究資金獲得経験がある市内企業との交流の場である、企業連携交流サロンを開催する。			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●企業連携交流サロンの開催	●企業連携交流サロンの開催	●企業連携交流サロンの開催	○企業連携交流サロンの開催
事業費(千円)	決算額 76	決算額 46	決算見込額 49	予算額 252

各年度事業の詳細・実績	H30	・企業連携交流サロンの開催　参加者 66 人
	R１	・企業連携交流サロンの開催　参加者 24 人
	R２	・企業連携交流サロンの開催　参加者 19 人
	R３以降	・令和３年度以降も継続して事業を実施予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業８：　はちのへ創業・事業承継サポートセンター事業

事業内容	起業・創業・事業承継を支援するため、創業支援拠点として「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」を設置し、相談員等による相談対応を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●相談対応の実施 ●創業希望者の交流事業の実施 ●創業及び事業承継に関するセミナーの実施	●相談対応の実施 ●創業希望者の交流事業の実施 ●創業及び事業承継に関するセミナーの実施	●相談対応の実施 ●創業希望者の交流事業の実施 ●創業及び事業承継に関するセミナーの実施	○相談対応の実施 ○創業希望者の交流事業の実施 ○創業及び事業承継に関するセミナーの実施
事業費（千円）	決算額　12,442	決算額　13,848	決算見込額　17,132	予算額　17,371

各年度事業の詳細・実績	H30	・新規相談者数　147 人 ・相談件数　676 件 ・創業者数　36 人 ・事業承継成立　7 件
	R１	・新規相談者数　136 人 ・相談件数　559 件 ・創業者数　47 人 ・事業承継成立　2 件
	R２	・新規相談者数　177 人 ・相談件数　686 件 ・創業者数　35 人 ・事業承継成立　6 件
	R３以降	令和３年度以降も継続して事業を実施予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業９：　八戸市創業融資利子補給制度

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、日本政策金融公庫と連携し、創業融資利用者への利子補給を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	商工課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●利子補給の実施	●利子補給の実施	●利子補給の実施	○利子補給の実施
事業費(千円)	決算額　717	決算額　743	決算見込額　788	予算額　1,000

各年度事業の詳細・実績	H30	【利子補給実績】 H27 借入分　8 千円 H28 借入分　213 千円 H29 借入分　260 千円 H30 借入分　237 千円
	R１	【利子補給実績】 H28 借入分　101 千円 H29 借入分　202 千円 H30 借入分　270 千円 R１借入分　171 千円
	R２	【利子補給実績】 H29 借入分　172 千円 H30 借入分　358 千円 R１借入分　339 千円 R２借入分　188 千円
	R３以降	【利子補給見込額】 H30 借入分　114 千円 R１借入分　292 千円 R２借入分　373 千円 R３借入分　261 千円

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策 24	公契約における適正な労働条件が確保されるよう、公契約法の早期制定の国への要望と合わせ、市独自の公契約制度の導入を進めます。

事業１： 公契約制度の導入

事業内容	公契約における適正な労働条件の確保を図るため、公契約法の早期制定を国へ要望するとともに、市が発注者となる公契約において、市独自の労働条項を規定する等の公契約制度を導入する。			
実施区分	実施中	担当課	契約検査課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●市長会等を通じた公契約法の早期制定の要望 ●「八戸市公契約制度研究会議」を設置し、市独自の公契約制度の導入について検討 ●事業者アンケートの実施 ●公契約制度に関する研修会の開催	●市長会等を通じた公契約法の早期制定の要望 ●「八戸市公契約制度研究会議」を開催し、市独自の公契約制度の導入について検討 ●公契約制度に関する研修会の開催	●市長会等を通じた公契約法の早期制定の要望 ●条例案に対するパブリックコメントの実施 ●令和２年９月条例公布 ▽公契約制度に関する説明会の開催（中止）	○市長会等を通じた公契約法の早期制定の要望 ○事業者アンケートの実施 ○制度周知を目的とした取組の実施 ○職員向け研修会の開催
事業費(千円)	決算額 494	決算額 510	決算見込額 268	予算額 1,000

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・「八戸市公契約制度研究会議」の設置及び開催 ３回 ・制度検討のための事業者アンケートの実施 ・公契約制度に関する事業者向け研修会の開催 約 130 名参加
	R１	・「八戸市公契約制度研究会議」の開催 ３回 ・公契約制度に関する事業者向け研修会の開催 約 130 名参加
	R２	・条例案に対するパブリックコメントの実施 意見総数９件 ・公契約条例の公布（令和２年９月公布、令和３年４月施行） ・市内建設業関係団体を通じた制度への協力依頼
	R３以降	・制度の認知度の把握のための事業者アンケートの実施 ・公契約制度に関する事業者向け研修会の開催 ・入札・契約制度に関する職員向け研修会の開催

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度実施予定だった事業者向け説明会を中止した。

政策４　市民参画と広域連携

重点施策 25	地域コミュニティの振興に向けて、「地域の底力」実践プロジェクトの促進など、連合町内会連絡協議会との連携強化により各種事業を推進します。

事業１：　「地域の底力」実践プロジェクト促進事業

事業内容	地域コミュニティの振興を図るため、課題解決や地域活性化に向けて地域住民や各種団体が話し合い、計画作成から実践まで取り組む「地域の底力」実践プロジェクトを支援する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●実施地域を公募し、採択 ●「地域の底力」結集会議の開催 ●プロジェクトの計画策定 ●前年度採択地域への支援 ●活動事例集の作成	●実施地域を公募し、採択 ●「地域の底力」結集会議の開催 ●プロジェクトの計画策定 ●前年度採択地域への支援	▽実施地域を公募し、採択（中止） ▽「地域の底力」結集会議の開催 ●プロジェクトの計画策定 ●前年度採択地域への支援	○実施地域を公募し、採択 ○「地域の底力」結集会議の開催 ○プロジェクトの計画策定 ○令和元年度採択地域への支援
事業費（千円）	決算額　2,311	決算額　1,499	決算見込額　355	予算額　2,200

各年度事業の詳細・実績	H30	【採択地域】高館・白山台・類家 事業実践に向け結集会議を開催、プロジェクト内容を検討 【実践地域】白銀：「白銀まつりの拡充と白銀四頭権現神楽の継承」 多賀：「いちごを通じた農業の担い手育成と世代間交流“15(いちご)ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ”」 上長：「健康づくり推進協議会の活動拡充“健診で伸ばそう上長健康長寿”」 平成 30 年度実績【補助金額】3 地域　854,000 円
	R１	【採択地域】是川・湊高台・大館 事業実践に向け結集会議を開催、プロジェクト内容を検討 【実践地域】高館　：「高館地区ウォークラリー“高館キッズに地域の魅力を伝えるために”」 白山台：「しおんの森開き“しおんの森と遊歩道の環境美化とその利活用”」 令和元年度実績【補助金額】2 地域　1,000,000 円
	R２	【採択地域】※ 新型コロナウイルス感染症の影響により公募中止 【実践地域】※ 新型コロナウイルス感染症の影響により次年度へ延期 実践に向けてのプロジェクト検討は継続
	R３以降	【採択地域】公募中 【実践地域】是川　：「あおぞら市と連携した是川地区の活性化」 湊高台：「夏祭りの再編とにぎわいファームの開設」 大館　：「地学連携を核とした歴史と文化の保存と継承」

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　住民活動保険制度

事業内容	地域コミュニティの振興を図るため、圏域住民による町内会活動やボランティア活動等、公益的なまちづくり活動中の様々な傷害事故や賠償責任を総合的に補償する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●補償対象とする活動の庁内調査 ●圏域住民向け制度説明会の開催 ●住民活動保険契約・制度開始	●住民活動保険契約 ●補償対象とする活動の庁内調査 ●圏域住民向け制度説明会の開催	●住民活動保険契約 ●補償対象とする活動の庁内調査 ●圏域住民向け制度説明会の開催	○住民活動保険契約 ○補償対象とする活動の庁内調査 ○圏域住民向け制度説明会の開催
事業費(千円)	決算額 2,843	決算額 2,598	決算見込額 2,092	予算額 3,385

各年度事業の詳細・実績	H30	・八戸市、五戸町、田子町、南部町、新郷村、おいらせ町(6市町村)の住民で、地域活動やボランティア活動を行っている方を対象に制度開始 保険金請求・支払 14 件　1,413,776 円
	R１	・新たに三戸町が加入し7市町村に拡大 保険金請求・支払　8 件　524,963 円
	R２	・新たに市町村毎の補償対象活動を記載した保険証書付属明細書を八戸市、田子町、南部町、新郷村、おいらせ町(5市町村)で作成 保険金請求・支払 13 件 1,298,968 円
	R３以降	・新たに三戸町、五戸町(2市町村)が保険証書付属明細書を作成

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業３：　連合町内会連絡協議会連携事業

事業内容	地域コミュニティの振興を図るため、八戸市連合町内会連絡協議会と連携して、町内会の加入促進や組織強化等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●町内会加入促進事業 ・町内会加入促進月間（9月） ・多様な団体との意見交換会（不動産関係団体、八戸・ＩＴテレマーケティング未来創造協議会） ・加入取次ぎ実施等 ●組織強化事業 ・地域コミュニティ人材育成アカデミー ・町内会だよりコンクール ・働き世代・子育て世代の意見交換会等 ●普及・啓発事業 ・ニュースレターの発行 ・町内会啓発動画出前上映等	●町内会加入促進事業 ・町内会加入促進月間（9月） ・不動産関係団体との意見交換会 ・加入取次ぎ実施等 ●組織強化事業 ・地域コミュニティ人材育成アカデミー ・町内会だよりコンクール ・働き世代・子育て世代の意見交換会等 ●普及・啓発事業 ・ニュースレターの発行 ・町内会啓発動画出前上映等	●町内会加入促進事業 ・町内会加入促進月間（9月） ・不動産関係団体との意見交換会 ・加入取次ぎ実施等 ●組織強化事業 ・地域コミュニティ人材育成アカデミー ▽町内会だよりコンクール ▽働き世代・子育て世代の意見交換会等 ●普及・啓発事業 ・ニュースレターの発行 ●コロナ対策物品の配付 ●町内会の運営や活動等の取組事例収集に関するアンケート調査	○町内会加入促進事業 ・町内会加入促進月間（9月） ・不動産関係団体との意見交換会 ・加入取次ぎ実施等 ○組織強化事業 ・地域コミュニティ人材育成アカデミー ・町内会だよりコンクール ・働き世代・子育て世代の意見交換会等 ○普及・啓発事業 ・ニュースレターの発行
事業費（千円）	決算額　2,807	決算額　2,459	決算見込額　6,746	予算額　4,134

各年度事業の詳細・実績	H30	・新たに働き世代・子育て世代の意見交換会を開催
	Ｒ１	・不動産関係団体との連携強化 意見交換会、加入促進チラシ作成、のぼり制作・配布、事業者向けチラシ配布及びポスター掲示、セミナー・研修会における啓発活動等を実施 ・ヴァンラーレ八戸ホーム戦で町内会加入促進キャンペーンを開催
	Ｒ２	・市内全町内会にコロナ対策物品を配付 ・町内会運営事例やコロナ禍における活動状況などを収集し、町内会活動の強化充実のため、市内全町内会に報告・共有
	Ｒ３以降	・働き世代・子育て世代の意見交換会を開催 ・不動産関係団体との連携強化 ・町内会加入促進キャンペーン

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度実施予定だった町内会だよりコンクール、働き世代・子育て世代の意見交換会を中止した。

重点施策 26	若者や女性の活躍推進に向けて、大学等との連携による若者のまちづくり参画を促進するとともに、職場をはじめ様々な場面での男女共同参画を促進します。

事業１：　学生まちづくり助成金制度

事業内容	若者のまちづくりへの参画を促進するため、学生が自主的に取り組む地域振興や地域貢献に関する事業や活動に対して助成金を交付するとともに、優良な事例を表彰する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●企画提案募集 ●選考会によるヒアリング審査、交付事業決定 ●学生＆高校生まちづくりコンペティションの開催	●企画提案募集 ●選考会によるヒアリング審査、交付事業決定 ●学生＆高校生まちづくりコンペティションの開催	●企画提案募集 ●選考会によるヒアリング審査、交付事業決定 ●学生＆高校生まちづくりコンペティションの開催	○企画提案募集 ○選考会によるヒアリング審査、交付事業決定 ○学生＆高校生まちづくりコンペティションの開催
事業費(千円)	決算額　1,036	決算額　895	決算見込額　525	予算額　1,376

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・学生まちづくり助成金　7 件　915,529 円 ・平成 31 年２月　学生＆高校生まちづくりコンペティション開催（成果発表）
	R１	・学生まちづくり助成金　5 件　756,615 円 ・令和２年２月　学生＆高校生まちづくりコンペティション開催（成果発表）
	R２	・学生まちづくり助成金　3 件　440,618 円 ・令和３年２月　学生＆高校生まちづくりコンペティション開催（成果発表）
	R３以降	・令和３年度以降も継続して事業を実施予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２：　まちづくりインターン助成金制度

事業内容	若者のまちづくりへの参画を促進するため、学生または高校生がまちづくり活動に参加している町内会等へ助成金を交付する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●助成金の交付	●助成金の交付	▽助成金の交付（中止）	○助成金の交付
事業費(千円)	決算額 83	決算額 130	決算見込額 0	予算額 192

各年度事業の詳細・実績	H30	・交付実績　２件　17,500 円 中田面木町内会：春のゴミゼロ運動 本八戸駅通り地区まちづくり協議会：宝探しイベント
	R１	・交付実績　４件　34.000 円 中田面木町内会：春のゴミゼロ運動 三島上町内会：みしまうえ盆踊り大会デスコナイト 2019 全国スポーツ流鏑馬八戸大会実行委員会：全国スポーツ流鏑馬第４回八戸大会 八戸国際交流協会：八戸三社大祭外国人案内ブース設置事業
	R２	・新型コロナウイルス感染症の影響により募集を中止
	R３以降	・新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら事業実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度実施予定だった助成事業の募集を中止した。

事業３：　高校生地域づくり実践プロジェクト

事業内容	若者のまちづくりへの参画を促進するため、高校生が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献に資する活動に対して費用を助成するとともに、高校生や地域住民を対象としたセミナー及び交流会を開催する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●高等学校の生徒による地域づくり活動に対する助成 ●高等学校及び地域住民を対象とした交流会の開催 ●学生＆高校生まちづくりコンペティションの開催	●高等学校の生徒による地域づくり活動に対する助成 ●高等学校及び地域住民を対象とした交流会の開催 ●学生＆高校生まちづくりコンペティションの開催	●高等学校の生徒による地域づくり活動に対する助成 ▽高等学校及び地域住民を対象とした交流会の開催（中止） ●学生＆高校生まちづくりコンペティションの開催	○高等学校の生徒による地域づくり活動に対する助成 ○高等学校及び地域住民を対象とした交流会の開催 ○学生＆高校生まちづくりコンペティションの開催
事業費(千円)	決算額　1,019	決算額　750	決算見込額　633	予算額　1,611

各年度事業の詳細・実績	H30	・八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金 5件（うち圏域町村1件）、交付金額 762,873円 ・高校生×地域連携交流会　参加者36人（うち高校生18人） ・平成31年２月　学生＆高校生まちづくりコンペティション開催（成果発表）
	R１	・八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金 4件（うち圏域町村1件）、交付金額519,008円 ・高校生×地域連携交流会　参加者：53人（うち高校生28人） ・令和２年２月　学生＆高校生まちづくりコンペティション開催（成果発表）
	R２	・八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金 6件（うち圏域町村1件）、交付金額　565,955円 ・高校生×地域連携交流会　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・令和３年２月　学生＆高校生まちづくりコンペティション開催（成果発表）
	R３以降	・助成金事業については、令和３年度以降も継続して事業を実施予定。 ・高校生×地域連携交流会は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら実施方法等を検討中。

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度実施予定だった高校生×地域連携交流会を中止した。

事業４：　ハチカフェ　オフサイトミーティング事業

事業内容	若者のまちづくりへの参画を促進するため、将来の担い手となる人材育成及び発掘へつなげる「ハチカフェ　オフサイトミーティング」を開催する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●「ハチカフェ　オフサイトミーティング」の開催	●「ハチカフェ　オフサイトミーティング」の開催	●「ハチカフェ　オフサイトミーティング」の開催	○「ハチカフェ　オフサイトミーティング」の開催
事業費(千円)	決算額　1,005	決算額　785	決算見込額　869	予算額　1,092

各年度事業の詳細・実績	H30	・活躍する女性、若者、市長からの話題提供後、市長を交えたイベント参加者がマチの魅力について話し合うワールドカフェを実施　参加者 47 名 ・当日の様子をシュシュ（デーリー東北発行の生活情報誌）及び市ホームページに掲載、動画配信
	R１	・ワールドカフェを実施　参加者 37 名 ・当日の様子をシュシュ及び市ホームページに掲載、動画配信
	R２	・ゲストスピーカー及び市長がテーマに沿って意見交換し、会場からの質問に答えるクロストークを実施　参加者 34 名 ・当日の様子をシュシュ及び市ホームページに掲載
	R３以降	・「ゲストスピーカーからの話題提供」及び「参加者やゲストスピーカー、市長で意見・情報交換」を行うイベントを開催予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業５：　（再掲）花小路整備支援事業

事業内容	中心市街地のにぎわい創出及び若者のまちづくり参画を促進するため、花小路周辺地区まちづくり協議会が八戸工業大学と連携して進めている花小路の路面の美装化及びバリアフリー化等の再整備を支援する。			
実施区分	実施中	担当課	まちづくり推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●実施設計に対する支援	●整備工事に対する支援 ●供用開始	●花小路の地権者等が行う修景整備に対する支援	○花小路の地権者等が行う修景整備に対する支援
事業費(千円)	決算額　4,068	決算額　29,667	決算見込額　1,165	予算額　1,310

各年度事業の詳細・実績	H30	・まちづくり協議会が実施する花小路整備工事実施設計費の一部を補助 3,884 千円
	R１	・まちづくり協議会が実施する花小路整備工事費の一部を補助　29,448 千円 ・令和２年３月　花小路竣工、供用開始。
	R２	・花小路に面する地権者等が行う修景整備費の一部を補助　　１件 696 千円
	R３以降	・花小路に面する地権者等が行う修景整備費の一部を補助

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業６：　トーキングカフェ開催事業

事業内容	男女共同参画を促進するため、各分野・各業界において活躍している女性と市長との意見交換会を開催する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●トーキングカフェの開催（ハチカフェオフサイトミーティング事業と共催）	●トーキングカフェの開催（ハチカフェオフサイトミーティング事業と共催）	●トーキングカフェの開催（ハチカフェオフサイトミーティング事業と共催）	○トーキングカフェの開催（ハチカフェオフサイトミーティング事業と共催）
事業費(千円)	決算額 386	決算額 50	決算見込額 20	予算額 20

各年度事業の詳細・実績	H30	・活躍する女性、若者、市長からの話題提供後、市長を交えたイベント参加者がマチの魅力について話し合うワールドカフェを実施　参加者 47 名 ・当日の様子をシュシュ（デーリー東北発行の生活情報誌）及び市ホームページに掲載、動画配信
	R１	・ワールドカフェを実施　参加者 37 名 ・当日の様子をシュシュ及び市ホームページに掲載、動画配信
	R２	・ゲストスピーカー及び市長がテーマに沿って意見交換し、会場からの質問に答えるクロストークを実施　参加者 34 名 ・当日の様子をシュシュ及び市ホームページに掲載
	R３以降	・「ゲストスピーカーからの話題提供」及び「参加者やゲストスピーカー、市長で意見・情報交換」を行うイベントを開催予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業７：　女性チャレンジ講座開催事業

事業内容	男女共同参画を促進するため、企業や団体、地域社会等で今後の活躍が期待される 20～40 代の働く女性に対し、職場等で必要なビジネススキルを習得するための講座を開催する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●講座の開催（登録制（年７回）） ●公開講座の開催（１回）	●講座の開催（登録制（年７回）） ●公開講座の開催（１回）	●講座の開催（登録制（１回）） ●公開講座の開催（２回）	○講座の開催（登録制（年７回）） ○公開講座の開催（１回）
事業費(千円)	決算額　1,363	決算額　1,442	決算見込額　865	予算額　1,720

各年度事業の詳細・実績	H30	・女性チャレンジ講座　受講者 48 人（７期生 22 人、８期生 26 人） ・公開講座　受講者 42 人 「おもてなし力向上研修～おもてなしマスターのコツ、そっと教えます～」
	R１	・女性チャレンジ講座　受講者 51 人（８期生 21 名、９期生 31 名） ・公開講座　受講者 54 人 「やる気スイッチの上手な使い方」
	R２	・登録受講者を対象とした講座を開催　受講者６人（９期生） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、連続講座を休止 ・公開講座　受講者 38 人 「女性のためのイメージブランディング研修」を２回開催
	R３以降	・女性チャレンジ講座（年７回の連続講座）を実施予定 ９期生のほか、新規受講者募集予定（10 期生・令和３～４年度受講） ・公開講座開催予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度実施予定であった登録制の連続講座を休止した。

事業８：　ロールモデルＰＲ事業

事業内容	男女共同参画を促進するため、仕事と家庭生活等を両立し活躍している事例を発信する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●ロールモデルのインタビューをラジオで放送 ●広報紙や男女共同参画社会を考える情報誌にロールモデルの記事を掲載	●ロールモデルのインタビューをラジオで放送 ●広報紙や男女共同参画社会を考える情報誌にロールモデルの記事を掲載	●ロールモデルのインタビューをラジオで放送 ●広報紙や男女共同参画社会を考える情報誌にロールモデルの記事を掲載	○ロールモデルのインタビューをラジオで放送 ○広報紙や男女共同参画社会を考える情報誌にロールモデルの記事を掲載
事業費(千円)	決算額　882	決算額　897	決算見込額　897	予算額　1,105

各年度事業の詳細・実績	H30	・ラジオ番組 BeFM「キラ☆スタ両立ナビ」の放送（年６人・再放送あり） ・広報はちのへ「キラっと☆スマイル　八戸ナビ」の掲載（年３人） ・情報誌「WITH YOU」及び市ホームページへ掲載（年２回発行、各号１人）
	R１	・ラジオ番組 BeFM「キラ☆スタ両立ナビ」の放送（年６人・再放送あり） ・広報はちのへ「キラっと☆スマイル　八戸ナビ」の掲載（年３人） ・情報誌「WITH YOU」及び市ホームページへ掲載（年２回発行、各号１人）
	R２	・ラジオ番組 BeFM「キラ☆スタ両立ナビ」の放送（年６人・再放送あり） ・広報はちのへ「キラっと☆スマイル　八戸ナビ」の掲載（年３人） ・情報誌「WITH YOU」及び市ホームページへ掲載（年２回発行、各号１人）
	R３以降	・ラジオ番組 BeFM「キラ☆スタ両立ナビ」の放送（年６人・再放送あり） ・広報はちのへ「キラっと☆スマイル　八戸ナビ」の掲載（年２人） ・情報誌「WITH YOU」及び市ホームページへ掲載（年２回発行、各号１人）

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業９：　女性活躍推進支援事業

事業内容	男女共同参画を促進するため、企業に対して女性活躍推進に関する具体的な目標や取組内容を定める一般事業主行動計画の策定を支援する。			
実施区分	実施中	担当課	市民連携推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●企業への訪問説明 ●一般事業主行動計画策定の支援	●企業への訪問説明 ●一般事業主行動計画策定の支援	●広報はちのへ、八戸商工ニュースへの記事掲載 ●市ホームページでの情報発信 ●女性活躍推進チラシの作成・配布	○広報はちのへ、八戸商工ニュースへの記事掲載 ○市ホームページでの情報発信 ○女性活躍推進チラシの作成・配布
事業費(千円)	決算額 1,540	決算額 1,806	決算見込額 0	予算額 12

各年度事業の詳細・実績	H30	・企業相談対応 43 社、計画策定支援 10 社 委託先：青森県社会保険労務士会八戸支部 ※地域女性活躍推進交付金を活用（事業費の１/2）
	R１	・企業訪問説明 47 社、計画策定支援 13 社 委託先：青森県社会保険労務士会八戸支部 ※地域女性活躍推進交付金を活用（事業費の１/2）
	R２	・広報はちのへや八戸商工ニュース、市ホームページに女性活躍推進に関する情報を掲載 ・女性活躍推進に関する情報をまとめたチラシを作成し事業所へ配布（アンケート同封）
	R３以降	・広報はちのへや八戸商工ニュース、市ホームページに女性活躍推進に関する情報を掲載予定 ・女性活躍推進に関するチラシを作成し、周知予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策 27	中核市への移行を好機と捉え、たゆみない行財政改革を推進するとともに、市民サービスの更なる向上に取り組みます。

事業１：　行財政改革の推進

事業内容	たゆみない行財政改革を推進するとともに、市民サービスの更なる向上を図るため、行財政改革大綱及びプログラムの各取組を推進し、取組の進捗管理や追加、見直し等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	行政管理課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●行財政改革プログラムの各取組の実施 ●行財政改革プログラムの審議及び策定 ●結果の公表	●行財政改革プログラムの各取組の実施 ●行財政改革プログラムの審議及び策定 ●結果の公表	●第６次行財政改革プログラムの各取組の実績調査 ●行財政改革プログラムの審議及び策定 ●結果の公表	○第７次行財政改革大綱アクションプログラムの各取組の実施 ○アクションプログラムの審議及び策定 ○結果の公表
	●第７次行財政改革大綱の検討	●第７次行財政改革大綱の検討及び策定	●第７次行財政改革大綱アクションプログラムの各取組の実施	
事業費(千円)	決算額　0	決算額　0	決算見込額　0	予算額　0

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・第６次行財政改革プログラム（平成 29 年度取組 154 件）の審議及び策定 行政改革委員会からの意見聴取、行政改革推進本部による審議
	R１	・第６次行財政改革プログラム（平成 30 年度取組 129 件）の審議及び策定 ・令和２年２月　第７次行財政改革大綱及びアクションプログラムの策定
	R２	・第６次行財政改革大綱及び行財政改革プログラム（令和元年度取組 117 件、５年計 240 件）の取組実績調査、５年間の総括及び取組実績の審議及び策定 ・第７次行財政改革大綱アクションプログラム（109 件）の実施状況調査
	R３以降	・令和３年度以降も継続して第７次行財政改革大綱及びアクションプログラム（推進期間 令和２～６年度）の各取組を推進するとともに、進行管理を実施する予定。

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策 28	八戸広域圏における暮らしの向上と産業の振興を図るため、八戸圏域連携中枢都市圏「スクラム８」における各種の連携施策・事業を推進します。

事業１：　連携中枢都市圏推進事業

事業内容	八戸広域圏における暮らしの向上と産業の振興を図るため、連携中枢都市圏ビジョンに掲載された連携事業を推進するとともに、事業の進捗管理や追加、見直し等を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	政策推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●連携事業の推進・進捗管理 ●新規事業の検討や既存事業の見直し ●連携中枢都市圏の形成に関する講演会の開催	●連携事業の推進・進捗管理 ●新規事業の検討や既存事業の見直し ●連携中枢都市圏の形成に関する講演会の開催	●連携事業の推進・進捗管理 ●新規事業の検討や既存事業の見直し ▽連携中枢都市圏の形成に関する講演会の開催	○連携事業の推進・進捗管理 ○新規事業の検討や既存事業の見直し ○次期連携中枢都市圏ビジョンの策定 ○連携中枢都市圏の形成に関する講演会の開催
事業費(千円)	決算額　1,838	決算額　1,775	決算見込額　996	予算額　12,000

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・連携事業の推進 23 施策 76 事業 ・新規事業の検討 3 事業、既存事業の見直し 1 事業追加 ・講演会　開催地：階上町、三戸町、おいらせ町
	R１	・連携事業の推進 23 施策 80 事業 ・新規事業の検討 1 事業、既存事業の見直し 2 事業減、終了 1 事業、記載内容の変更 7 事業 ・講演会　開催地：田子町、新郷村、八戸市
	R２	・連携事業の推進 23 施策 78 事業 ・新規事業の検討 2 事業、既存事業の見直し 記載内容の変更 1 事業 【主な連携事業】 八戸都市圏交流プラザ事業 令和２年９月　「八戸都市圏交流プラザ（８base）」供用開始
	R３以降	・連携事業の推進 23 施策 80 事業 ・講演会の開催（開催方法等検討中） ・令和４年度を開始年度とする次期連携中枢都市圏ビジョンの策定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度の連携中枢都市圏の形成に関する講演会の開催を見合わせた、令和３年度も状況を注視しながら開催方法等を検討する。

重点施策 29	「北緯 40°ナニャトヤラ連邦会議」を通じて、漆産業の振興をはじめ、岩手県北の久慈・二戸地域との三圏域連携を推進します。

事業１： 三圏域連携推進事業

事業内容	岩手県北の久慈・二戸地域との三圏域連携を推進するため、北緯 40° ナニャトヤラ連邦会議及び総合調整連絡会議を開催するとともに、専門部会及び事務局による連携事業を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	政策推進課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●北緯 40° ナニャトヤラ連邦会議及び総合調整連絡会議の開催 ●専門部会及び事務局による連携事業の実施 （防災協力体制、産業経済活性化、広域観光、森林資源活用、漆産業振興、スポーツ・文化 等）	●北緯 40° ナニャトヤラ連邦会議及び総合調整連絡会議の開催 ●専門部会及び事務局による連携事業の実施 （防災協力体制、産業経済活性化、広域観光、森林資源活用、漆産業振興、スポーツ・文化 等）	●北緯 40° ナニャトヤラ連邦会議及び総合調整連絡会議の開催 ●専門部会及び事務局による連携事業の実施 （防災協力体制、産業経済活性化、広域観光、森林資源活用、漆産業振興、スポーツ・文化 等）	○北緯 40° ナニャトヤラ連邦会議及び総合調整連絡会議の開催 ○専門部会及び事務局による連携事業の実施 （防災協力体制、産業経済活性化、広域観光、森林資源活用、漆産業振興、スポーツ・文化 等）
事業費（千円）	決算額 1,022	決算額 1,051	決算見込額 1,035	予算額 1,063

各年度事業の詳細・実績		
	H30	・３市広報紙面相互掲載、ふるさと納税連携ＰＲの実施、パンフレットの相互配架、関係自治体間での相互研修会参加事業を実施
	Ｒ１	・３市広報紙面相互掲載、ふるさと納税連携ＰＲの実施、パンフレットの相互配架、関係自治体間での相互研修会参加事業を実施
	Ｒ２	・３市広報紙面相互掲載、ふるさと納税連携ＰＲの実施、パンフレットの相互配架、関係自治体間での相互研修会参加事業を実施
	Ｒ３以降	・これまでの取組を継続して実施

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
令和２年度事業において、新型コロナウイルス感染症の影響により、専門部会で実施予定であったイベントの中止や規模縮小などがあった。

事業２：　漆生産体制整備事業

事業内容	漆産業の振興を図るため、二戸・久慈圏域と連携を図りながら、八戸圏域内でのウルシ植栽時の苗木購入費用に係る補助を実施する。			
実施区分	実施中	担当課	農林畜産課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●ウルシ植栽時の苗木購入費用に対する補助 ●八戸圏域によるウルシ原木の調査 ●視察研修	●ウルシ植栽時の苗木購入費用に対する補助	●ウルシ植栽時の苗木購入費用に対する補助	○ウルシ植栽時の苗木購入費用に対する補助
事業費(千円)	決算額 1,416	決算額 215	決算見込額 292	予算額 660

各年度事業の詳細・実績	H30	・八戸圏域のウルシ原木調査 16.13ha ・ウルシ植栽時の苗木購入費用に対する補助 300 本
	R１	・ウルシ植栽時の苗木購入費用に対する補助 1,428 本
	R２	・ウルシ植栽時の苗木購入費用に対する補助 1,945 本
	R３以降	・ウルシ植栽時の苗木購入費用に対する補助 3,000 本

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

重点施策 30	移住・定住の促進に向けて、シティプロモーションの一層の推進と移住相談窓口の充実を図ります。

事業１：　シティプロモーション推進事業

事業内容	シティプロモーションを推進するため、ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用し、市内外に広く当市の魅力を戦略的に情報発信する。			
実施区分	実施中	担当課	広報統計課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●ソーシャルメディアの戦略的な運用（フェイスブック・ツイッター・ユーチューブ及びラインによる行政広報の実施） ●小学生スポーツ大会インターネットライブ配信 ●地域おこし協力隊による行政広報の動画等の配信	●ソーシャルメディアの戦略的な運用（フェイスブック・ツイッター・ユーチューブ及びラインによる行政広報の実施） ●小学生スポーツ大会インターネットライブ配信 ●地域おこし協力隊による行政広報の動画等の配信	●ソーシャルメディアの戦略的な運用（フェイスブック・ツイッター・ユーチューブ及びラインによる行政広報の実施） ●小学生スポーツ大会インターネットライブ配信 ●地域おこし協力隊による行政広報の動画等の配信	○ソーシャルメディアの戦略的な運用（フェイスブック・ツイッター・ユーチューブ及びラインによる行政広報の実施） ○小学生スポーツ大会インターネットライブ配信 ○地域おこし協力隊による行政広報の動画等の配信
事業費(千円)	決算額　17,516	決算額　13,880	決算見込額　9,568	予算額　10,769

各年度事業の詳細・実績	H30	・ソーシャルメディア配信 ツイッター 1,598 件、フェイスブック 589 件、ライン 27 件、 ユーチューブ 34 件 ・小学生スポーツ大会インターネットライブ配信　3 本 ・地域おこし協力隊による動画配信　3 本
	R 1	・ソーシャルメディア配信 ツイッター 1,632 件、フェイスブック 417 件、ライン 126 件、 ユーチューブ 29 件 ・小学生スポーツ大会インターネットライブ配信　2 本 ・地域おこし協力隊による動画配信　9 本
	R 2	・ソーシャルメディア配信 ツイッター 1,628 件、フェイスブック 431 件、ライン 333 件、 ユーチューブ 96 件 ・小学生スポーツ大会インターネットライブ配信　2 本 ・地域おこし協力隊による動画配信　2 本 ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、庁内各課からオンラインセミナー用動画等の作成依頼　52 本
	R 3 以降	・ソーシャルメディアの戦略的な運用及び小学生スポーツ大会インターネットライブ配信は、令和３年度以降も継続して事業を実施予定 ・地域おこし協力隊による行政広報の動画等の配信は、令和３年 11 月をもって事業完了予定

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について

事業２： 移住交流促進事業

事業内容	移住相談窓口の充実を図るため、八戸圏域移住ポータルサイトの運営や首都圏における移住相談会への積極的な参加などにより、八戸圏域への移住や人材の還流を促進する。			
実施区分	実施中	担当課	広報統計課	
年度	【実績】			【予定】
	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）
各年度の取組状況	●デジタルメディアによるＰＲ及びマーケティングリサーチ ●八戸圏域移住ポータルサイトの運営 ●八戸駅帰省ＰＲ ●八戸市東京事務所に首都圏在住者の移住等相談窓口を設置 ●青森暮らしサポートセンターとの連携 ●八戸都市圏移住セミナーの開催 ●首都圏における移住相談会への参加	●移住促進パンフレットの改訂 ●八戸圏域移住ポータルサイトの運営 ●八戸駅帰省ＰＲ ●八戸市東京事務所に首都圏在住者の移住等相談窓口を設置 ●青森暮らしサポートセンターとの連携 ●八戸都市圏移住セミナーの開催 ●首都圏における移住相談会への参加	●移住促進パンフレットの改訂 ●八戸圏域移住ポータルサイトの運営 ●八戸市東京事務所に首都圏在住者の移住等相談窓口を設置 ●青森暮らしサポートセンターとの連携 ●オンライン移住相談会の実施 ●八戸都市圏移住セミナーの開催（オンライン） ▽首都圏における移住相談会への参加	○八戸圏域移住ポータルサイトの運営および改修 ○八戸駅帰省ＰＲ ○八戸市東京事務所に首都圏在住者の移住等相談窓口を設置 ○青森暮らしサポートセンターとの連携 ○オンライン移住相談の実施 ○八戸都市圏移住セミナーの開催（オンライン） ○首都圏における移住相談会への参加
事業費(千円)	決算額 6,430	決算額 3,721	決算見込額 2,281	予算額 4,000

各年度事業の詳細・実績	H30	・デジタルメディアＰＲによるアクセス回数 14,032 回 ・八戸圏域移住ポータルサイトのページビュー 51,759 回 ・移住相談件数 548 件
	Ｒ１	・八戸圏域移住ポータルサイトのページビュー 71,419 回 ・移住相談件数 378 件
	Ｒ２	・八戸圏域移住ポータルサイトのページビュー 42,271 回 ・移住相談件数 371 件
	Ｒ３以降	・八戸圏域移住ポータルサイトの運営、ポータルサイト改修予定 ・首都圏における移住相談会への参加

令和３年度においても、「実施区分」が検討中・一部実施・未実施の場合その理由

外部要因等による当該取組項目への影響について
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度参加予定であった首都圏における移住相談会が中止となった。

政策公約進捗状況基礎資料　　令和３年５月

■　発　　行　　**八　　戸　　市**
〒031-8686　青森県八戸市内丸一丁目１番１号
TEL：0178-43-2111（内線 2013）
FAX：0178-47-1485

■　編　　集　　**八戸市　総合政策部　政策推進課**